

令和7年度第2回全国科学博物館協議会理事会・総会  
及び第33回研究発表大会 開催要項

- 趣 旨 科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、学芸員等博物館専門職員の活動の一層の充実に資する。
- 期 日 令和8年2月17日(火)・18日(水)
- 主 催 全国科学博物館協議会、独立行政法人国立科学博物館、一般財団法人全国科学博物館振興財団
- 会 場 国立科学博物館筑波研究施設（茨城県つくば市天久保 4-1-1）  
及びオンライン
- テーマ 「倫理的かつ専門性をもったコミュニケーション～調査研究等の博物館の基盤的活動を人々に伝える手法について」
- 日 程

2月17日(火).....令和7年度第2回理事会・総会.....

- (9:00～) 筑波実験植物園 見学自由（申込不要）  
植物園への入園は教育棟（正門から入園）にて「参加証」をご提示ください。
- 11:00～ 理事会受付（理事会参加者のみ）：総合研究棟1階（西門から入構）
- 11:30～13:00 理 事 会 **【総合研究棟1階多目的室】**
- 12:30～13:30 総会受付（現地）：総合研究棟8階大会議室前
- 13:00～ オンライン参加者入室開始
- 13:30～ 総 会 **【総合研究棟8階大会議室】**
- 13:30～13:40 理事長挨拶
- 13:40～14:20 議 事
- 14:20～14:30 《 休 憩 》
- 14:30～14:50 博物館振興施策等概要説明  
文化庁企画調整課長/博物館振興室長 桐生 崇
- 14:50～15:10 全科協海外科学系博物館視察報告  
公益財団法人目黒寄生虫館研究員 高野 剛史
- 15:10～15:20 20周年を迎えたサイエンスミュージアムネット（S-Net）  
国立科学博物館動物研究部研究主幹 中江 雅典
- 15:20 閉 会
- 15:30～ オプションalツアー
- 15:30～15:45 国立科学博物館筑波研究施設 概要説明
- 15:45～17:20 収蔵庫ツアー/筑波実験植物園ツアー（いずれも事前申し込み制）  
(～16:30) 筑波実験植物園 自由見学（申込不要）
- 17:15～18:15 情報交換会（入退室自由） **【総合研究棟8階大会議室】**

2月18日(水) 第33回研究発表大会

(9:00～) 筑波実験植物園 見学自由 (申込不要)

植物園への入園は教育棟(正門から入園)にて「参加証」をご提示ください。

9:30～10:00 受付(現地): 総合研究棟8階大会議室前

オンライン参加は受付開始時間より随時入室可。

10:00～ 研究発表大会

**【総合研究棟8階大会議室】**

10:00～10:10 開会挨拶

10:10～11:50 事例発表・質疑 ※別紙参照

11:50～12:00 ポスターセッション インデックス・プレゼンテーション

12:00～13:00 《 昼食・休憩 》

13:00～13:30 ポスターセッション コアタイム

13:30～14:50 事例発表・質疑 ※別紙参照

14:50～15:05 《 休憩 》

15:05～17:05 事例発表・質疑 ※別紙参照

17:05～17:10 閉会挨拶

※現地参加者で受付時間に間に合わない場合は、休憩時間や閉会后に受付を行います。必ず事務局にお声がけください。  
※今後の社会情勢によっては、理事会・総会・研究発表大会はオンライン等による開催に、情報交換会は中止に変更する可能性があります。また、昨年度に引き続き、今回も試行として、希望があれば加盟館外の博物館関係者の総会(議事以外)、情報交換会、研究発表大会への参加を可としています(参加費徴収)。なお、申し込み状況によっては参加をお断りすることもあります。

# 第33回研究発表大会

大会テーマ:倫理的かつ専門性をもったコミュニケーション～調査研究等の博物館の基盤的活動を  
人々に伝える手法について

## 口頭発表詳細

日 時 : 令和8年2月18日(水) 10:00～17:10

【会場】 国立科学博物館筑波研究施設 総合研究棟8階大会議室

### 【開会】

9:30 ～ 《 受付開始 》  
10:00 ～ 10:10 《 開会挨拶 》

### 【第1ブロック】

10:10 ～ 研究発表① 現在も継続する災害の博物館展示に関する一考察  
東日本大震災・原子力災害伝承館 瀬戸 真之  
10:30 ～ 研究発表② 科学データ可視化展示「ジオ・スコープ」のリニューアル  
～耳で楽しむ・オンラインで学ぶ・学校で使う～  
日本科学未来館 平井 元康・小林 浩太  
10:50 ～ 研究発表③ 大学附属博物館における先端研究の発信―「シルクが切り開く未来展」にみる科学と社会の対話―  
東京農工大学科学博物館 齊藤 有里加・上田 裕尋・伊藤 克彦・中澤 靖元  
11:10 ～ 研究発表④ 理科の楽しさを伝える「センター学習」と「新展示品開発」  
京都市青少年科学センター 中井 祥平  
11:30 ～ 研究発表⑤ 専門分野を博物館展示に活かす ―爬虫類・両生類の事例―  
国立科学博物館 吉川 夏彦

### 【ポスター発表】

11:50 ～ 12:00 《 ポスターセッション インデックス・プレゼンテーション 》  
12:00 ～ 13:00 《 昼食・休憩 》  
13:00 ～ 13:30 《 ポスターセッション コアタイム 》

### 【第2ブロック】

13:30 ～ 研究発表⑥ 日本語教室との協働 ―地域とともに歩むために―  
浜松科学館 横田 誓子・島田 真帆  
13:50 ～ 研究発表⑦ 視覚障害者向け常設展示ツアーの実践とまとめ～触って体感する宇宙のくらし  
日本科学未来館 三浦 菜摘・佐野 広大・澤田 拓実・荒木 千賀  
14:10 ～ 研究発表⑧ 初代南極観測船「宗谷にタッチ！」  
～だれもが楽しめる、五感を使ったこれからの博物館活動～  
公益財団法人日本海事科学振興財団 船の科学館 高橋 昌代  
14:30 ～ 研究発表⑨ 障害者の生涯学習に関する地域連携とDEI行動規範の策定  
兵庫県立人と自然の博物館 橋本 佳延・廣瀬 孝太郎・藤井 俊夫・福本 優・衛藤 彬史・石田 弘明  
14:50 ～ 15:05 《 休憩 》

### 【第3ブロック】

15:05 ～ 研究発表⑩ 植物の多様性に関する研究とその成果の展示への活用  
国立科学博物館 村井 良徳  
15:25 ～ 研究発表⑪ 三松三朗氏の実践した火山と共生するためのサイエンスコミュニケーション  
磐梯山噴火記念館 佐藤 公・箱根ジオパーク推進協議会 荒木 藍  
15:45 ～ 研究発表⑫ 科学館における「非認知能力」涵養の実践 ―教育プログラムを特別展へ展開する試  
福岡市科学館 高山 裕明・上田 恭子  
16:05 ～ 研究発表⑬ 佐賀県立宇宙科学館と県内5高校の生徒による超小型人工衛星「SAGANSAT0号機」の共同開発  
佐賀県立宇宙科学館 伊藤 明德・田中 政文・小林 翔  
16:25 ～ 研究発表⑭ 博物館所蔵ボーリング標本を用いた学校向け貸し出し教材開発による地学教育支援  
大阪市立自然史博物館 石井 陽子  
16:45 ～ 研究発表⑮ 科学博物館におけるマンガ展の開催に関する考察  
国立科学博物館 栗原 祐司

### 【閉会】

17:05 ～ 17:10 《 閉会挨拶 》

## ポスターセッション詳細

コアタイム時間：令和8年2月18日(水) 13:00~13:30

【会場】国立科学博物館筑波研究施設 総合研究棟8階大会議室前

- 1 研究者による展示解説“ガイドツアー”を通じた  
来館者エンゲージメント向上の試み -地質標本館での実践-  
〔産業技術総合研究所 地質標本館 瀬口寛樹、福田和幸〕
- 2 鉱物を絵の具に -関心を繋ぐ体験イベント-  
〔産業技術総合研究所 地質標本館 川邊 禎久・兼子 尚知・中村 由美〕
- 3 学芸員の活動を市民に伝える -大阪市立科学館の事例-  
〔大阪市立科学館 嘉数 次人〕

## 全国科学博物館協議会 加盟館園の状況

## 1. 館園数

令和8年2月17日現在

区 分	令和7年度 第1回総会時 (令和7年7月3日)	令和7年度 第2回総会時 (令和8年2月17日)	内 訳		増△減
			入会	退会	
正 会 員	216	214	0	2	△2
維持会員	20	21	1	0	1
購読会員	12	11	0	1	△1
計	248	246	1	3	△2

## 2. 入退会館園

(令和7年7月3日～令和8年2月17日)

区 分	館 園 名	種 別	備 考
退 会	株式会社久光文化施設研究所	購読会員	諸事情による
退 会	龍河洞博物館	正 会 員	運営上の都合による
退 会	滋賀サファリ博物館	正 会 員	閉館のため
入 会	マイクロドローン撮影 森本広志	維持会員	

## 全国科学博物館協議会 令和8・9年度役員館園名簿（案）

	館 園 名	代 表 者 (令和8年2月現在)	
		館 長	
理事長館	国立科学博物館	館 長	篠 田 謙 一
理 事 館	札幌市青少年科学館	館 長	西 川 英 一
	岩手県立博物館	館 長	坂 本 美 知 治
	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	館 長	横 山 一 己
	<u>群馬県立自然史博物館</u>	<u>館 長</u>	<u>藤 卷 薫</u>
	鉄道博物館	館 長	石 田 亨
	科学技術館	館 長	野 依 良 治
	郵政博物館	館 長	増 田 英 治
	神奈川県立生命の星・地球博物館	館 長	田 中 徳 久
	富山市科学博物館	館 長	笠 間 信 行
	名古屋市科学館	館 長	大 路 樹 生
	鳥羽水族館	館 長	若 井 嘉 人
	大阪市立自然史博物館	館 長	川 端 清 司
	兵庫県立人と自然の博物館	館 長	村 上 哲 明
	鳥取県立博物館	館 長	片 山 暢 博
	防府市青少年科学館	館 長	松 本 浩
愛媛県総合科学博物館	館 長	和 田 英 夫	
北九州市立自然史・歴史博物館	館 長	真 鍋 徹	
監 事 館	たばこと塩の博物館	館 長	菊 池 孝 徳
	NHK放送博物館	館 長	山 本 雅 士

令和 8 年度

全国科学博物館協議会  
事業計画及び収支予算  
(案)

(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで)

## I 管理運営

事項	内容	実施時期	参加者	会場	備考
理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 令和7年度事業報告及び 収支決算報告（案）等</li> <li>・第2回 令和9年度事業計画及び 収支予算（案）等</li> </ul>	第1回 令和8年 7月上旬 (予定)	理事館 18館 監事館 2館 常務理事	第1回 国立科学博物館  第2回 東日本大震災・ 原子力災害伝承 館	(参考) 7月上旬 全国博物館長会議 (予定)
総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 令和7年度事業報告及び 収支決算報告（案）等</li> <li>・第2回 令和9年度事業計画及び 収支予算（案）等</li> </ul>	第1回 令和8年 7月上旬 (予定)	正会員 維持会員 購読会員	第1回 国立科学博物館  第2回 東日本大震災・ 原子力災害伝承 館	(参考) 7月上旬 施設見学（NHK放送 博物館） (予定)

## Ⅱ 事業

### (1) 研修事業

事項	内容	実施時期	対象	会場	備考
学芸員専門 研修アドバ ンス・コース	博物館等における調査研究，資料の収集・保管，展示，学習支援活動等について専門的，実践的な研修を実施。	令和8年秋頃 (予定)	自然科学系 博物館等に 勤務する学 芸員等10名 程度	国立科学博物館	[共催] 国立科学博物館 (理学研究部に よる研修を実施 予定)
オンライン 学芸員専門 研修	博物館等における調査研究，資料の収集・保管，展示，学習支援活動等について，オンライン形式で研修を実施。	令和9年1月 ～3月頃 (予定)	博物館等に 勤務する学 芸員等30名 程度	オンライン開催	[共催] 国立科学博物館 (動物研究部に よる研修を実施 予定)
海外科学系 博物館視察 研修	海外の科学系博物館等における運営，展示技術，教育普及活動等に関する知識を深め，博物館の充実，発展に資することを目的として視察研修を実施。	令和9年 1月中旬頃 (7日間程度)	正会員 維持会員 購読会員 15名程度	タイの博物館 (予定)	訪問地域は北米 や欧州，豪州， アジア等から選 定 [共催] (一財)全国科学 博物館振興財団  財源の一部として (公財)カメイ社 会教育振興財団の 助成に応募予定
海外施設調 査	海外の科学系博物館等における取り組みについて調査を実施し，その取り組みを自館の運営に活かすとともに，博物館同士の国際交流や共同事業実施への基盤形成へつなげることを目的に実施。	令和8年7月 ～令和9年1 月 (7日～12日 間程度)	正会員 4名程度	海外の博物館	財源の一部として (公財)カメイ社 会教育振興財団の 助成に応募予定

## (2) 連携促進事業

事項	内容	実施時期	備考
研究発表大会等	博物館活動の充実に資するため、展示、教育普及活動、研究活動等に関する成果について、発表及び研究協議を行う。	令和9年 2月中旬 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回総会の翌日に開催</li> <li>・会場は東日本大震災・原子力災害伝承館を予定</li> <li>・共催：(一財)全国科学博物館振興財団</li> </ul>
巡回展の実施協力	加盟館園に対して巡回展の広報を行う。	令和8年 5月頃	<p>(参考) 令和7年度紹介の巡回展(23件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国立科学博物館製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>「キモかわすごい！海の骨なしどうぶつの世界」</li> <li>「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」</li> <li>「ダーウィンを驚かせた鳥たち」</li> <li>「博物館が支える日本の生物多様性の保全」</li> </ul> </li> <li>・地質標本館製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>パネル展「日本初！日本列島大分析 元素で見る『地球化学図』」</li> <li>パネル展「日本列島ストレスマップ—地震観測とAIで読み解く全国の地殻応力場—」</li> <li>パネル展「美しい砂の世界—日本の砂、世界の砂、地層の砂—」</li> <li>パネル展「地中熱 あなたの足元に再生可能エネルギー」</li> <li>パネル展「プレートテクトニクスがつくるなぞの温泉『深部流体』」</li> </ul> </li> <li>・「時」展覧会 2020 実行委員会製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>パネル展「『時』展覧会 2020」</li> </ul> </li> <li>・(公財)日本科学技術振興財団製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回展示「ラ・ビレット展」</li> <li>巡回展示「マグネット展」</li> <li>巡回展示「スポーツを科学する」</li> <li>巡回展示「感覚・体感フィールド」</li> <li>巡回展示「科学捜査展」</li> <li>巡回展示「究める！マグネット展」</li> <li>巡回展示「科学捜査展 #SEASON2」</li> <li>巡回展示「マスレチック・ランド」</li> </ul> </li> </ul>

			巡回展示「光の世界」 巡回展示「自然現象のメカニズム展」 巡回展示「消防火災展」 ・福島県環境創造センター製作 「コミュタン福島学習 パネル」 ・福岡市科学館製作 「新種はっけん！展」 協力：(一財)全国科学博物館振興財団
事業に対する後援・協賛等	加盟館園や関係機関等が実施する随時事業で，全科協の設置目的に適合し，適切と認められる事業に対し後援・協賛等を行う。	随時	令和8年度はIPS2026 FUKUOKAへ協賛を行う。

### (3) 広報普及事業

事項	内容	実施時期	備考
機関誌の発行	<p>機関誌「全科協ニュース」の発行により，加盟館園等を対象として全科協が行う各種事業やその他の諸活動に関する情報を提供し，全科協の事業運営への理解と加盟館園相互の協力関係の推進に寄与する。</p> <p>全科協ニュース編集委員会を開催し，特集テーマ等掲載記事について検討。</p>	年6回 (奇数月) 発行  年1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判 16頁</li> <li>・発行部数 850部</li> </ul>
全科協ホームページ，Facebookの運営	加盟館園からの意見聴取を行う等，情報及び内容のさらなる改善充実を図る。	随時	
入会案内及び広報活動	新設の科学系博物館等に対して入会の勧誘実施のほか，全科協の活動について，自治体等関係機関，団体及び企業等に対する広報活動を積極的に実施する。	随時	

## 令和8年度 全国科学博物館協議会収支予算(案)

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(総 表)

(単位:千円)

科 目		令和7年度予算額 A	令和7年度 決算見込	令和8年度予算額 B	差引増▲減額 B-A
収 入	会員会費	4,098	4,194	4,180	82
	雑収入 (広告料等)	360	385	360	0
	助成金	1,300	790	1,300	0
	小 計	5,758	5,369	5,840	82
	前期繰越金	7,066	6,720	6,393	▲ 673
	収入合計	12,824	12,089	12,233	▲ 591
支 出	1 管理運営				
	理事会・総会費	626	476	835	209
	2 事業				
	(1) 研修事業				
	学芸員専門研修費	539	182	539	0
	学芸員オンライン研修費	40	0	40	0
	海外科学系博物館視察研修費	1,067	791	1,065	▲ 2
	海外施設調査費	1,602	1,141	1,600	▲ 2
	(2) 連携促進事業				
	研究発表大会費	2,279	1,027	2,609	330
	巡回展等協力費	0	0	0	0
	後援・協賛	0	0	500	500
	(3) 広報普及事業				
	全科協ニュース発行費	1,814	1,551	1,701	▲ 113
	入会案内及び広報活動費	170	47	47	▲ 123
	ホームページ運営費	423	423	423	0
3 その他経費					
経理管理費	69	58	77	8	
予備費	1,000	0	1,000	0	
小 計	9,629	5,696	10,436	807	
次期繰越金	3,195	6,393	1,797	▲ 1,398	
合 計	12,824	12,089	12,233	▲ 591	

(千円以下切り上げ)

## 令和8年度収支予算 内訳

(収入の部)

(単位:千円)

科 目	令和7年度 予 算 額 A	令和7年度 決算見込	令和8年度 予 算 額 B	差 引 増▲減額 B-A	備 考
会 員 会 費	4,098	4,194	4,180	82	1.正会員 60,000 円      1 館      60 20,000 円      85 館     1,700 10,000 円     128 館     1,280 計     214 館     3,040 2.維持会員 50,000 円以上    21      1,100 3.購読会員 4,000 円          10        40
雑 収 入	360	385	360	0	広告料等   5 社 72,000 円    360
助 成 金	1,300	790	1,300	0	(公財)カメイ社会教育振興財団 (海外科学系博物館視察研修および海外 先進施設調査助成)
小 計	5,758	5,369	5,840	82	
前期繰越金	7,066	6,720	6,393	▲ 673	
合 計	12,824	12,089	12,233	▲ 591	

(支出の部)

(単位:千円)

科 目	令和7年度 予 算 額 A	令和7年度 決算見込	令和8年度 予 算 額 B	差 引 増▲減額 B-A	備 考
<b>1 管理運営</b>					
<b>理事会・総会費</b>	<b>626</b>	<b>476</b>	<b>835</b>	<b>209</b>	
諸謝金	70	57	70	0	講演謝金
旅費	184	15	176	▲ 8	講演者、報告者2名 関東近郊等 170 施設見学関連(事務局) 東京都 6 計 176
通信費	48	0	0	▲ 48	※資料送付はメール周知。 メール登録のない館(数件)には郵送(切手使用)
会議費	104	89	108	4	理事会 24名 2回 @2,000円 96 総会 100名 1回 @120円 12 計 108
消耗品費	70	4	70	0	事務消耗品等 70
雑役務費	150	311	411	261	託児業者 100 配信業者・警備案内業務 311 計 411
<b>2 事業</b>					
<b>(1) 研修事業</b>					
<b>学芸員専門研修費</b>	<b>539</b>	<b>182</b>	<b>539</b>	<b>0</b>	
旅費	9	3	9	0	事務補助者旅費 3名 @3,000円 9
通信費	0	0	0	0	
会議費	0	0	0	0	
消耗品費	30	0	30	0	研修消耗品等 30
印刷費	0	0	0	0	
研修援助費	500	179	500	0	研修参加者旅費 10名 @50,000円 500
<b>学芸員オンライン研修費</b>	<b>40</b>	<b>0</b>	<b>40</b>	<b>0</b>	
諸謝金	30	0	30	0	
通信費	0	0	0	0	
会議費	0	0	0	0	
消耗品費	10	0	10	0	

(単位:千円)

科 目	令和7年度 予 算 額 A	令和7年度 決算見込	令和8年度 予 算 額 B	差 引 増▲減額 B-A	備 考
<b>海外科学系博物館 視察研修費</b>	<b>1,067</b>	<b>791</b>	<b>1,065</b>	<b>▲ 2</b>	
旅費	0	0	0	0	
通信費	12	0	0	▲ 12	※資料送付はメール周知。 メール登録のない館(数件)には郵送(切手使用)
消耗品費	55	41	65	10	公式訪問館へ記念品 5館 @10,000円 50 海外WiFiレンタル @15,000円 15 計 65
研修援助費	1,000	750	1,000	0	全科協からの研修援助費 500 カメイ社会教育振興財団からの助成 500 計 1,000
<b>海外施設調査費</b>	<b>1,602</b>	<b>1,141</b>	<b>1,600</b>	<b>▲ 2</b>	
旅費	0	0	0	0	海外調査旅費 0
通信費	2	0	0	▲ 2	※資料送付はメール周知。 メール登録のない館(数件)には郵送(切手使用)
会議費	0	0	0	0	
研修援助費	1,600	1,141	1,600	0	全科協からの研修援助費 4名 @200,000円 800 カメイ社会教育振興財 4名 @200,000円 800 団からの助成 計 1,600
<b>(2)連携促進事業 研究発表大会費</b>	<b>2,279</b>	<b>1,027</b>	<b>2,609</b>	<b>330</b>	
諸謝金	100	0	100	0	講師講演謝金等 100
旅費	400	145	590	190	講師等旅費 280 大会運営旅費等 310 計 590
通信費	165	0	5	▲ 160	※資料送付はメール周知。 資料運搬 5箱 @1,000円 5
会議費	24	29	24	0	飲料等 100名 2回 @120円 24
雑役役務	860	800	860	0	配信業者 800 託児業者 60 計 860
借料・損料	150	0	450	300	会場等借料 150 臨時バス運行 300 計 450
消耗品費	80	53	80	0	事務消耗品等 80
研修援助費	500	0	500	0	事例発表者 500 (口頭:上限5万円×5名まで、ポスター:5万円×5名まで)



## 令和 8 年度研修事業（案）

## ○学芸員専門研修アドバンスト・コース

令和 7 年度は機械資料のメンテナンス・管理の方法等の研修を、令和 7 年 11 月 11 日(火)～11 月 14 日(金)の 4 日間で実施し、12 館 12 名（加盟館より 9 館 9 名）が参加した。

令和 8 年度については、11 月上旬頃に理学研究部による研修の実施を予定している。

## ○オンライン学芸員専門研修

令和 7 年度は令和 8 年 2 月 2 日（月）、3 日（火）に国立科学博物館植物研究部による標本収集から展示・学習支援活動等についての研修を実施した。令和 8 年度については、令和 9 年 1～3 月頃に動物研究部による研修を予定している。

また、オンラインのメリットを生かせる研修テーマがあれば順次開催する予定である。

## ○海外科学系博物館視察研修

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和 4 年度まで中止をしていたが、令和 5 年度からは研修を再開した。

令和 7 年度は令和 8 年 1 月 13 日（火）～19 日（月）に韓国に滞在し、16 名 8 団体が参加した。

公式訪問として、SEALIFE COEX、国立海洋遺産研究所、国立光州科学館、国立中央博物館、国立果川科学館を訪れた。

令和 8 年度はタイでの研修を予定している。

## ○海外先進施設調査

令和 7 年度は 3 名がそれぞれフランス・イギリス、ドバイ首長国・アブダビ首長国で施設調査を実施した。

令和 8 年度についても募集、実施を予定している。

## 令和 8 年度連携促進事業 IPS2026 福岡大会に対する協賛について（案）

福岡市科学館（IPS2026 FUKUOKA 国内組織委員会）から国際プラネタリウム協会（IPS: International Planetarium Society）2026 福岡大会（以下、支援対象事業という。）の開催に関し、別紙のとおり支援に関する依頼があった。

当該事業へ支援することは、加盟館園の博物館事業の振興に寄与することから、以下のとおり支援することとしたい。

## 記

1. 全科協の繰越金のうちから年間あたり約 50 万円程度を財源に充てる。
2. 協賛金の使途は、原則として全科協正会員・維持会員に所属する者の支援対象事業への参加に伴う参加登録費又は旅費に対する補助に限るものとするが、それらに関連する管理費用（振込手数料等）が生ずる場合には全科協事務局に事前に相談の上、決定する。
3. 支援対象事業に係る庶務及び経理については、すべて事業主催団体である福岡市科学館（IPS2026 FUKUOKA 国内組織委員会）が処理する。
4. 福岡市科学館は、支援対象事業終了後、実施報告書を全科協事務局に提出すること。  
また、協賛金に残余が生じた場合は、全科協に返納すること。
5. 福岡市科学館は、総会又は研究発表大会で報告を行うこと。

以上

2026年2月1日

独立行政法人国立科学博物館長  
全国科学博物館協議会 理事長  
篠田 謙一 様

IPS 2026 FUKUOKA 国内組織委員会委員長  
矢原 徹



## IPS 2026 FUKUOKA 開催に当たってのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、科学博物館、プラネタリウム及び天文台の活動等に対し格別のご高配を賜り、厚く感謝申し上げます。

本年6月、国内では30年ぶりに国際プラネタリウム協会（International Planetarium Society ; IPS）の大会が福岡市で開催されます。IPSは、世界最大のプラネタリウム関係者による団体で、1970年の発足以来、世界中の学校、大学、博物館、天文台、公共施設等のあらゆる施設・規模のプラネタリウムを代表する世界50か国の約500名の会員が加入し、2年おきに各国都市で大会を開催しています。

IPS 2026 FUKUOKA は、プラネタリウム誕生100周年の後に開催される最初の大会であり、人類が作り出した地球と空を見るための装置であるプラネタリウムに関わる世界中の仲間が福岡のひとつの空の下に集い、「One Earth, One Sky」のテーマの下、次の100年に向けて新しい創造ができる大会を目指しています。

つきましては、国内の科学館等から一人でも多くの関係者の参加を得て、IPS 2026 FUKUOKA が成功裡に開催されますよう、国立科学博物館及び全国科学博物館協議会様のご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

敬 具

(添付資料)

- ・ IPS 2026 FUKUOKA 概要
- ・ IPS 2026 国内組織委員会 規約
- ・ IPS 2026 国内組織委員会 事務局規定

# IPS 2026 FUKUOKA 基本スケジュール

6月	18(木) プレ1日目	19(金) プレ2日目	20(土) プレ3日目	21(日) プレ4日目	22(月) 1日目	23(火) 2日目	24(水) 3日目	25(木) 4日目	26(金) 5日目	27(土)~ 6日目~
科学館	フルドームフェスティバル		IPS 理事会 連携シンポジウム		スポンサープロモーション セッション & ワークショップ					
国際 センター							スポンサー展示会			
国際 会議場							総会/ 同時開催セッション/ 基調講演			
大濠公園 能楽堂			ウェルカム イベント							
未定									バンケット	ポスト カンファレンス ツアー

## 6月18日(木)・19日(金)

福岡市科学館ドームシアターを会場としてフルドームフェスティバルを開催。  
世界各国の制作者から応募されたコンテンツ上映。ショートムービー、長編ムービーのコンテストを実施予定。

## 6月20日(土)・21日(日)

福岡市科学館にて IPS 理事会を開催。同時に市民が参加できるシンポジウムやイベントなども実施予定。  
21日(日) 夕刻からのウェルカムイベントは、大濠公園能楽堂で日本の伝統文化である能楽鑑賞。食事 & 懇親会を実施予定。

## 6月22日(月)・23日(火)

福岡市科学館のドームシアターおよびサイエンスホールで、出展者・スポンサーによる最新の機器や映像のデモンストレーション、  
その他展示室や実験室でのセッションやワークショップも実施予定。

## 6月24日(水)~26日(金) 午前

会場を福岡国際センター、福岡国際会議場に移動。国際センターでは各スポンサーブースで各社の最新技術や映像に触れ、国際  
会議場では、最大1,000人収容できるホールや、大小20以上の会議室でのセッションやワークショップを実施。  
セッションテーマは以下を検討中。

### 一般トピック

- ◎フィロソフィ
- ◎技術とハードウェア
- ◎管理・運営・広報
- ◎プラネタリウムと天文教育
- ◎インクルージョン・多様性・公平性・アクセシビリティ
- ◎モバイルプラネタリウム
- ◎プラネタリウムの未来

### 企画セッション (IPS 2026 FUKUOKA オリジナル)

- ◎プラネタリウムと天文学普及の軌跡
- ◎世界のプラネタリウム愛好家
- ◎世界の星の伝承
- ◎プラネタリウムと宇宙開発ビジネスとの連携
- ◎日本のアニメ文化とプラネタリウム

## 6月26日(金) 午後

福岡の近隣をめぐるツアーや夕刻からはバンケット(晩餐会)を開催予定。

## 6月27日(土)~ ポストカンファレンスツアー

(日本)国内のプラネタリウム施設や天文台、観光地を巡る旅を検討中。

内容は変更する場合があります。最新情報はホームページをご参照ください。

<https://www.ips2026fukuoka.com/>



### IPS 2026 FUKUOKA 国内組織委員会

〒810-0044 福岡市中央区六本松 4-2-1 福岡市科学館内  
TEL: 092-731-2525 / FAX: 092-731-2530  
E-mail: ips-fukuoka@fukuokacity-kagakukan.jp

### 出展スポンサーに関する窓口

Professional Congress Organizer (PCO)  
IPS 2026 LOC サポートチーム  
E-mail: sponsor\_ips2026@officebeone.com

プラネタリウムの国際会議が  
2026年6月福岡にやってくる！



# FUKUOKA 2026



## 6月21日(日)~26日(金)

ウェルカムイベント 6月21日(日) 夕刻  
カンファレンス 6月22日(月)~26日(金) 午前  
バンケット 6月26日(金) 夕刻



# IPS 2026 FUKUOKA 大会

2026年6月。国内では30年ぶりに国際プラネタリウム協会（IPS: International Planetarium Society）の大会が開催されます。この大会のHOSTを福岡市科学館が担います。

この大会には、世界中のプラネタリウムや天文に関する・興味を持つ人々が集結します。プラネタリウムの最新業界情報に触れ、世界中のプラネタリアンと意見を交換し、交流を深めるイベントが盛りだくさんです。国内での開催は大変貴重な機会となります。ぜひご参加ください。

## 大会趣旨 “One Earth, One Sky”

人類の歴史を通じて、私たちは独自の言語と文化を持つ多様な社会を築いてきました。そして今日、持続可能な社会の実現という課題に直面する中で、国際的な協力はこれまで以上に重要となっています。こうした時代において、分野や国境を越えて人々がつながり、知恵や経験を共有する場が求められています。

IPS 2026 FUKUOKA は、“One Earth, One Sky” をテーマに、プラネタリウム誕生100周年を経て開催される最初の大会です。世界中のプラネタリウム関係者が福岡の空の下に集い、次の100年に向けて新たな創造を育むカンファレンスを目指します。

IPS 2026 FUKUOKA HOST  
国内組織委員会 組織委員長

福岡市科学館 館長 矢原 徹一



## IPS カンファレンスの歴史（過去大会）

- |                         |                           |                           |
|-------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 第13回 1996年 大阪(日本)       | 第14回 1998年 ロンドン(イギリス)     | 第15回 2000年 モントリオール(カナダ)   |
| 第16回 2002年 ウィチタ(アメリカ)   | 第17回 2004年 バレンシア(スペイン)    | 第18回 2006年 メルボルン(オーストラリア) |
| 第19回 2008年 アドラー(アメリカ)   | 第20回 2010年 アレクサンドリア(エジプト) | 第21回 2012年 バトルージュ(アメリカ)   |
| 第24回 2014年 北京(中国)       | 第25回 2016年 ワルシャワ(ポーランド)   | 第26回 2018年 トゥールーズ(フランス)   |
| 第27回 2020年 バーチャルカンファレンス | 第28回 2021年 バーチャルカンファレンス   | 第29回 2024年 イエナ/ベルリン(ドイツ)  |
| 第30回 2026年 福岡(日本)       |                           |                           |



## 国際プラネタリウム協会 (IPS: International Planetarium Society)

IPS は世界最大のプラネタリウム関係者による団体です。1970年の発足以来、世界中の学校、大学、博物館、天文台、公共施設などのあらゆる施設・規模のプラネタリウムを代表する約500名（世界50カ国）の会員が本会に加入し、2年おきに各国都市でカンファレンスを開催しています。

2023~2025年にかけてのプラネタリウム100周年記念事業も世界各国で開催され、2024年イエナ/ベルリン大会は、プラネタリウム発祥の地で100周年を祝う記念大会となりました。



IPS President **Dr. Shannon Schmoll**  
Director, Talbert and Leota Abrams Planetarium, Michigan State University

# 大会会場と交通機関



## 福岡市科学館

IPS 2026 FUKUOKA 開催に先立ってプレイベントとして、フルドームフェスティバルをドームシアターで開催します。ショートムービー、長編ムービーの放映を予定しています。また共催イベントも行う予定です。25mドームでの作品鑑賞をお楽しみください。カンファレンス第1日目はここから始まります。スポンサーによるプレゼンテーションをドームシアターとサイエンスホールで開催します。ペーパーセッション、ワークショップ、グループディスカッションを各室で実施します。コンパクトな空間で、発表者との距離も近く、活発なコミュニケーションも生まれることでしょう。

フルドームフェスティバル：2026年6月18日(木)・19日(金)

共催イベント：2026年6月20日(土)・21日(日)

カンファレンス（1日目・2日目）：2026年6月22日(月)・23日(火)

## 福岡国際センター

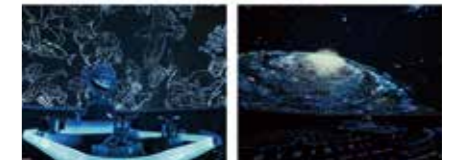
大きな空間にスポンサーの出展ブースを設置します。出展者・スポンサーの最新技術や最新の作品に触れる機会となります。コンテンツ制作者や研究発表用に仮設ドームの設置も計画。昼食会場や商談スペースなども用意し、快適な空間を提供します。

カンファレンス（3日目～5日目）：2026年6月24日(水)・25日(木)・26日(金)

## 福岡国際会議場

IPS 2026 FUKUOKA での特別企画や日本のプラネタリウムや天文台、そして天文教育関係者との合同セッションを企画しています。ここでは、“One Earth, One Sky” のテーマにそったペーパーセッション、ワークショップ、グループディスカッションも実施します。大ホールでは、IPS 総会のほか、基調講演、閉会式（メモリアル、アワード、写真撮影など）を行います。

カンファレンス（3日目～5日目）：2026年6月24日(水)・25日(木)・26日(金)



国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡  
国内組織委員会(Local Organizing Committee)  
規約

(名称)

第1条 本委員会は、「国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡」国内組織委員会と称する。

(目的)

第2条 本委員会は、国際プラネタリウム協会（以下「IPS」という）が2026年6月に福岡市において開催する「国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡」（英語名称：International Planetarium Society 2026 conference in FUKUOKA、略称：IPS 2026 Fukuoka）（以下「IPS 2026 福岡」という）を円滑かつ成功裡に実施することを目的として、IPSの規約に基づいて、国内組織委員会（以下「IPS 2026 国内組織委員会」（英名：IPS 2026 LOC）という）として設置する。

(運営)

第3条 IPS 2026 国内組織委員会の運営は、この規約の定めるところによる。

(活動)

第4条 IPS 2026 国内組織委員会は、会議の準備、運営および関連諸行事等に関し、次の活動を行う。

- (1) IPS、福岡市、日本プラネタリウム協議会、その他日本天文学会等関連諸機関・団体との緊密かつ円滑な連携
- (2) IPS 2026 福岡の開催場所および周辺施設の確保並びに利用のための準備
- (3) 決定された IPS 2026 福岡の実施計画の実施
- (4) IPS 2026 福岡の参加者からの参加費徴収、助成金の申請
- (5) 前各号に関わる経費の管理
- (6) その他、前各号に付随する業務

(構成)

第5条 IPS 2026 国内組織委員会は、理事会、事務局および各部会等で構成され、IPSおよびIPS 2026 福岡の主催館である福岡市科学館の特定事業目的会社並びに国内プラネタリウム関係者から推薦された委員と外部協力者（以下「構成員」という）をもって構成する。

(理事会)

第6条 IPS 2026 国内組織委員会理事会に次の各号に掲げる役員を置く

- (1) 組織委員長（IPS 2026 Conference Host / Chair） 1名

- (2) 組織副委員長(事務局担当者、日本プラネタリウム協議会 3名  
(以下「JPA」という。)担当者およびIPS担当者)
- (3) 理事 数名

(理事会役員等の選出)

第7条 組織委員長は、IPS 2026 福岡の主催館である福岡市科学館館長をもって充てる。

- 2 理事会役員は、構成員の推薦に基づき、組織委員長が指名する。
- 3 組織副委員長は、理事会役員の間選により決定する。

(理事会役員の職務)

第8条 組織委員長は、主催者並びに大会議長の一人として、IPS 2026 国内組織委員会を代表し、理事会を管理し、IPS 2026 福岡を統括する。

- 2 事務局担当の組織副委員長は、IPS 2026 福岡の主催館の特定目的会社取締役として組織委員長、JPA および IPS 担当の組織副委員長を補佐する。
- 3 JPA 担当の組織副委員長は、JPA との連絡調整を行い、国内プラネタリアンの参加、連携などを取りまとめ、IPS 2026 福岡の大会議長の一人として、組織委員長を補佐する。
- 4 IPS 担当の組織副委員長は、IPS カンファレンスガイドラインによりプラネタリアンが担い、IPS 2026 福岡の大会議長の一人として IPS 2026 福岡の会議を主宰する。
- 5 組織委員長、組織副委員長に故障があるときは、IPS 2026 国内組織委員会理事が理事会の了解をもって、その職務を代理することがある。

(理事会役員の任期)

第9条 理事会役員の間は、IPS 2026 国内組織委員会に関わる全ての業務が終了するまでの間とする。

- 2 事情により理事会役員が職務を離脱する場合は、任期の満了に及ばない場合もこれを妨げるものではない。

(理事会役員の間任)

第10条 理事会役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えられないとき。

(理事会の会議)

第11条 IPS 2026 国内組織委員会理事会の会議は、組織委員長、組織副委員長および理事をもって構成し、次の各号に掲げる事項を決定する。

- (1) この規約の制定改廃に関すること。
- (2) IPS 2026 福岡の事業計画に関すること。

- (3) IPS 2026 国内組織委員会の運営に必要な予算および決算に関すること。
- (4) 各前号に掲げるもののほか、重要な事項に関すること。
- 2 組織委員長は、必要と認めるときに理事会を招集して、その会議の議長となる。また、必要な人員を会議に参加させることができる。
- 3 理事会は、役員<sup>2</sup>の2分の1以上の出席で成立する。この場合において、委任状を提出した者は、出席者とみなす。
- 4 理事会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 理事会の運営は、IPS 2026 国内組織委員会事務局（以下「事務局」という）が補佐する。

#### （事務局）

- 第12条 IPS 2026 福岡の業務推進および事務を処理するため、事務局を、主催館である福岡市中央区六本松 4-2-1 福岡市科学館内に置く。
- 2 IPS 2026 福岡の収支管理は、事務局が行う。
  - 3 事務局の運営は、事務局長が統括する。
  - 4 事務局長は、事務局運営の補佐、支援を受けるために、外部協力者などに業務委託を発注することができる。
  - 5 事務局の組織および運営に関し必要な事項の改定は、理事会の決議により別に定める。

#### （会計）

- 第13条 IPS 2026 国内組織委員会の事業費は、大会参加料、大会出展費、広告収入、チケット収入や物販収入、その他の収入および公的基金などを以ってこれに充てる。
- 2 IPS 2026 国内組織委員会の会計期間は、IPS 2026 福岡が決定した2023年7月1日以降の準備期間から、IPS との契約期間である2026年12月31日までとする。
  - 3 2023年度分の経費などの会計は、2024年度と合わせて会計処理を行う。
  - 4 事務局長は、会計担当者および監査担当者を設ける。
  - 5 IPS 2026 国内組織委員会に関する会計処理に関し、必要事項は事務局長が別に定める。

#### （部会等）

- 第14条 組織委員長は、IPS 2026 福岡の準備、実施に必要な会議および各部会等を設置する。
- 2 各部会は、組織委員長の指名により組織する。
  - 3 この会議、各部会等の運営に支援、補助が必要な場合は、事務局長より委託された者がこれを行うことができる。

#### （委任）

- 第15条 この規約に定めるもののほか、IPS 2026 福岡 国内組織委員会の運営に関し必要な事項は、組織委員長が定める。

(解散)

第16条 IPS 2026 福岡 国内組織委員会は、IPS 2026 福岡の収支報告書および事業報告書（以下「IPS 報告書」という）を作成し、IPS 報告書の受領確認後に解散する。

付則

(施行期日)

1 この規約は2024年5月1日から施行する。

(施行日前における準備行為)

2 この規約の施行日前に行われた2023年7月1日以降のIPS 2026 福岡の準備行為はこの規約に基づいて行われたものとみなす。

2024年4月30日

IPS 2026 福岡 主催者	福岡市科学館 館長	矢原 徹一
主催館運営企業	福岡市科学館特定事業者 株式会社福岡サイエンス&クリエイティブ 代表取締役社長	牛村 守
事務局担当企業	コニカミノルタプラネタリウム株式会社 代表取締役社長	本 由美子
事務局担当企業	株式会社トータルメディア開発研究所 代表取締役社長	山村 健一郎

## IPS 2026 国内組織委員会 事務局規程

### (目的)

第1条 この規程は、国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡（以下「IPS 2026 福岡」という）の開催に関連し、国内組織委員会(Local Organizing Committee)規約(以下「本規約」という) 第12条の規程に基づき、「国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡」国内組織委員会事務局（以下「事務局」という）の組織および運営について必要な事項を定めるものとする。

### (運営)

第2条 事務局の運営は、この規程の定めるところによる。

### (事務局員)

第3条 事務局に次の各号に掲げる職員をおく。

- (1) 事務局長 1名 (福岡市科学館(以下「ホスト館」という)の福岡市科学館特定事業目的会社 取締役)
- (2) 事務局次長 2名 (ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業従業員)
- (3) 事務局員 数名 (ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業従業員)
- (4) 部会委員 数名 (国内プラネタリウム関係者など)
- (5) 会計担当者 (ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業従業員)
- (6) 監査担当者 (会計担当者とは別のホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業従業員)

### (職務)

第4条 事務局長は、事務局を管理し、IPS 2026 国内組織委員会の事務局を統括するものとし、ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 取締役が就任する。また、事務局および各部会運営の補佐、支援を行うために、外部協力者などに業務を委託することができる。

- 2 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故あるときはその職務を代行するとともに、分担する事務を処理するものとし、ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業の従業員が就任する。
- 3 事務局員は、各自が分担する事務を処理する。
- 4 部会委員は、各専門部会を統括し、部会ごとの実施計画を取りまとめ、実施する。
- 5 会計担当者は、IPS 2026 福岡に関わる経理、決算、予算管理、税務申告、資金管理など全ての会計業務を担当する。年度終了後および事業終了後、すみやかに収支報告書を作成し、IPS 2026 国内組織委員会理事会へ提出する。
- 6 監査担当者は、IPS 2026 福岡に関わる財務、内部統制、法令遵守の監査を行い、事業終了後に収支報告内容を監査し、監査報告書を IPS 2026 国内組織委員会理事会へ提出する。

### (予算)

第5条 事務局は、IPS 2026 福岡の開催される2年前までに予算概要をIPSカンファレンス委員会（およびIPS評議会）に提出する。また、会議の前年のIPS評議会会議で更新版を提出し、各々承認を得る。

（助成金・寄附金・登録参加費等の管理）

第6条 IPS 2026 福岡開催のための準備、運営のため集められる寄附金品・参加登録費等およびその他これから生じる預金利息（以下「収入金等」という）の管理については、事務局長の指示監督の下、業務委託を受けた事業者が行うものとする。また、事務局長は以下の名義にて銀行口座を開設するものとし、同銀行口座は収入金等の管理および第7条に定める支出の管理のためだけに使用する。

銀行口座名	国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡 国内組織委員会事務局長 (英名: International Planetarium Society 2026 conference in FUKUOKA Head of the secretariat)
-------	--

（経費の支出）

第7条 IPS 2026 福岡開催の準備、運営および残務整理に要する経費は、収入金等から、IPS 2026 国内組織委員会の経理規程に基づき、会計担当者が国内組織委員会事務局長の承認を得て支出する。

（収支決算）

第8条 事務局は、IPS 2026 福岡終了後すみやかに収入支出の状況を記した帳簿、証拠書類その他関係書類を整理し、収支報告書の作成を行うものとする。

- 2 収支報告書は、監査のため、事務局長の承認を得たあと、監査担当者による監査および内容を承認する旨の署名・捺印を要するものとする。

（文書）

第9条 文書の取り扱いは、ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社の運用を定めた「福岡市科学館特定事業 事業契約書」第68条に準じて処理する。

（公印）

第10条 IPS 2026 国内組織委員会で使用する公印の種類および寸法は、別記のとおりとする。

（解散）

第11条 IPS 2026 国内組織委員会および事務局は、IPS 2026 福岡の収支報告書および事業報告書（以下「IPS報告書」という）を作成し、IPS報告書の受領確認後に解散する。同時に、第6条の銀行口座も廃止する。

付 則

(施行期日)

1 この規程は、2024年5月1日から施行する。

(施行日前における準備行為)

2 この規程の施行日前に行われた2023年7月1日以降のIPS 2026 福岡の開催に関連する職務、準備行為はこの規程に基づいて行われたものとみなす。

2024年4月30日

IPS 2026 国内組織委員会 準備会

別 記

公 印 名	書 体	形 状	寸 法	数 量
IPS 2026 国内組織委員会 之印	て ん 書	正 方 形	方 2 4 mm	1 個

公 印 名	書 体	形 状	寸 法	数 量
IPS 2026 国内組織委員会 組織委員長之印	て ん 書	円 形	直径 1 8 mm	1 個

銀行届出印	書 体	形 状	寸 法	数 量
IPS 2026 国内組織委員会 事務局長之印	て ん 書	円 形	直径 1 8 mm	1 個

全国科学博物館協議会 令和7年度役員館園名簿

	館 園 名	代 表 者 (令和8年2月現在)	
		館 長	
理事長館	国立科学博物館	館 長	篠 田 謙 一
理 事 館	札幌市青少年科学館	館 長	西 川 英 一
	岩手県立博物館	館 長	坂 本 美知治
	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	館 長	横 山 一 己
	鉄道博物館	館 長	石 田 亨
	科学技術館	館 長	野 依 良 治
	郵政博物館	館 長	増 田 英 治
	神奈川県立生命の星・地球博物館	館 長	田 中 徳 久
	富山市科学博物館	館 長	笠 間 信 行
	名古屋市科学館	館 長	大 路 樹 生
	鳥羽水族館	館 長	若 井 嘉 人
	大阪市立自然史博物館	館 長	川 端 清 司
	兵庫県立人と自然の博物館	館 長	村 上 哲 明
	鳥取県立博物館	館 長	片 山 暢 博
	防府市青少年科学館	館 長	松 本 浩
	愛媛県総合科学博物館	館 長	和 田 英 夫
北九州市立自然史・歴史博物館	館 長	真 鍋 徹	
監 事 館	たばこと塩の博物館	館 長	菊 池 孝 徳
	NHK放送博物館	館 長	山 本 雅 士

## 参考資料2

### 全国科学博物館協議会 加盟館園名簿

令和8年2月17日現在

	機関名	〒	所在地	電話
1	札幌市青少年科学館	0040051	札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20	011-892-5001
2	苫小牧市科学センター	0530018	北海道苫小牧市旭町3-1-12	0144-33-9158
3	滝川市美術自然史館	0730033	北海道滝川市新町2-5-30	0125-23-0502
4	旭川市科学館	0788391	北海道旭川市宮前1条3-3-3 2	0166-31-3186
5	あすなろ会こども遊学館（釧路市こども遊学館）	0850017	北海道釧路市幸町10-2	0154-32-0122
6	稚内市青少年科学館	0970026	北海道稚内市ノシャップ2-2-16	0162-22-5100
7	岩手県立博物館	0200102	岩手県盛岡市上田字松屋敷34	019-661-2831
8	盛岡市子ども科学館	0200866	岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷13-1	019-634-1171
9	久慈琥珀博物館	0280071	岩手県久慈市小久慈町19-156-133	0194-59-3821
10	陸前高田市立博物館	0292205	岩手県陸前高田市高田町字並杉300番地1	0192-54-4224
11	奥州市牛の博物館	0294205	岩手県奥州市前沢字南陣場103番地1	0197-56-7666
12	H O K U S H U 仙台市科学館	9810903	宮城県仙台市青葉区台原森林公園4-1	022-276-2201
13	仙台市天文台	9893123	宮城県仙台市青葉区錦ヶ丘9-29-32	022-391-1300
14	秋田県立博物館	0100124	秋田県秋田市金足鳩崎字後山52	018-873-4121
15	秋田大学大学院国際資源学研究所附属鉱業博物館	0108502	秋田県秋田市手形字大沢28-2	018-889-2461
16	フェライト子ども科学館	0180402	秋田県にかほ市平沢字宝田4-1	0184-32-3150
17	山形県立博物館	9900826	山形県山形市霞城町1-8	023-645-1111
18	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ	9608044	福島県福島市早稲町1-1	024-524-3131
19	ふくしま森の科学体験センター	9620728	福島県須賀川市虹の台100	0248-89-1120
20	福島県環境創造センター	9637700	福島県田村郡三春町深作10番2号	0247-61-6129
21	高柳電設工業スペースパーク（郡山市ふれあい科学館）	9638002	福島県郡山市駅前2-11-1	024-936-0201
22	磐梯山噴火記念館	9692701	福島県耶麻郡北塩原村桧原字剣ヶ峯1093-36	0241-32-2888
23	いわき市石炭・化石館	9728321	福島県いわき市常磐湯本町向田3-1	0246-42-3155
24	東日本大震災・原子力災害伝承館	9791401	福島県双葉郡双葉町中野字高田39	0240-23-4402
25	ツムラ漢方記念館	3001192	茨城県稲敷郡阿見町吉原3586	029-889-2167
26	つくばエキスポセンター	3050031	茨城県つくば市吾妻2-9	0298-58-1100
27	産業技術総合研究所 地質標本館	3058567	茨城県つくば市東1-1-1	029-861-3750
28	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	3060622	茨城県坂東市大崎700	0297-38-2000
29	日立シビックセンター科学館サクリエ	3170073	茨城県日立市幸町1-21-1	0294-24-7731
30	エジソンミュージアム	1118081	東京都台東区駒形1-4-8	0282-86-5074
31	栃木県立博物館	3200865	栃木県宇都宮市睦町2-2	028-634-1311
32	栃木県子ども総合科学館	3210151	栃木県宇都宮市西川田町567	028-659-5555
33	那須塩原市那須野が原博物館	3292752	栃木県那須塩原市三島5-1	0287-36-0949
34	木の葉化石園	3292924	栃木県那須塩原市中塩原472	0287-32-2052
35	高崎市少年科学館	3700065	群馬県高崎市末広町23-1	027-321-0323
36	群馬県立自然史博物館	3702345	群馬県富岡市上黒岩1674-1	0274-60-1200
37	群馬県立ぐんま昆虫の森	3760132	群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷460-1	0277-74-6441
38	鉄道博物館	3300852	埼玉県さいたま市大宮区大成町3-47	048-651-0088

	機関名	〒	所在地	電話
39	川口市立科学館	3330844	埼玉県川口市上青木3-12-18	048-262-8431
40	戸田市立郷土博物館彩湖自然学習センター	3350031	埼玉県戸田市大字内谷2887	048-422-9991
41	越谷市立児童館コスモス	3430042	埼玉県越谷市千間台東2-9	048-978-1515
42	越谷市立児童館ヒマワリ	3430842	埼玉県越谷市蒲生旭町11-35	048-986-3715
43	越谷市科学技術体験センター	3430857	埼玉県越谷市新越谷1-59	048-961-7171
44	日本工業大学 工業技術博物館	3458501	埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1	0480-33-7545
45	所沢航空発祥記念館	3590042	埼玉県所沢市並木1-13	04-2996-2225
46	埼玉県立川の博物館	3691217	埼玉県大里郡寄居町大字小園39番地	048-581-7333
47	埼玉県立自然の博物館	3691305	埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1	0494-66-0404
48	千葉市科学館	2600013	千葉県千葉市中央区中央4-5-1	043-308-0511
49	千葉県立中央博物館	2608682	千葉県千葉市中央区青葉町955-2	043-265-3111
50	我孫子市鳥の博物館	2701145	千葉県我孫子市高野山234-3	04-7185-2212
51	千葉県立現代産業科学館	2720015	千葉県市川市鬼高1-1-3	047-379-2000
52	東金こども科学館	2830801	千葉県東金市八坂台1-2107-3	0475-55-6211
53	航空科学博物館	2891608	千葉県山武郡芝山町岩山111-3	0479-78-0557
54	鴨川シーワールド	2960041	千葉県鴨川市東町1464-18	0470-92-2121
55	科学技術館	1020091	東京都千代田区北の丸公園2-1	03-3212-8544
56	港区立みなと科学館	1050001	東京都港区虎ノ門3-6-9	03-6381-5041
57	NHK放送博物館	1050002	東京都港区愛宕2-1-1	03-5400-4140
58	船の科学館	1050021	東京都港区東新橋一丁目8番3号汐留エッジ5階	03-5500-1111
59	TEPIA 先端技術館	1070061	東京都港区北青山2-8-44	03-5474-6175
60	国立科学博物館	1108718	東京都台東区上野公園7-20	03-3822-0111
61	葛飾区郷土と天文の博物館	1250063	東京都葛飾区白鳥3-25-1	03-3838-1101
62	たばこと塩の博物館	1300003	東京都墨田区横川1-16-3	03-3622-8801
63	東武博物館	1310032	東京都墨田区東向島4-28-16	03-3614-8811
64	郵政博物館	1318139	東京都墨田区押上1-1-2	03-6240-4377
65	地下鉄博物館	1340084	東京都江戸川区東葛西6-3-1	03-3878-5011
66	東京ガス株式会社 がすてなーに ガスの科学館	1350061	東京都江東区豊洲6-1-1	03-3534-1111
67	日本科学未来館	1350064	東京都江東区青海2-3-6	03-3570-9151
68	こども館	1500001	東京都渋谷区神宮前2-30-4	03-3405-7800
69	東京科学大学博物館	1528550	東京都目黒区大岡山2-12-1	03-5734-3340
70	目黒寄生虫館	1530064	東京都目黒区下目黒4-1-1	03-3716-1264
71	東京消防庁消防防災資料センター消防博物館	1600004	東京都新宿区四谷3-10	03-3353-9119
72	サンシャイン水族館	1708630	東京都豊島区東池袋3-1サンシャインシティ	03-3989-3460
73	板橋区立教育科学館	1740071	東京都板橋区常盤台4-14-1	03-3559-6561
74	府中市郷土の森博物館	1830026	東京都府中市南町6-32	042-368-7921
75	東京農工大学科学博物館	1848588	東京都小金井市中町2-24-16	0423-88-7163
76	多摩六都科学館	1880014	東京都西東京市芝久保町5-10-64	0424-69-6100
77	川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）	2140032	神奈川県川崎市多摩区枳形7-1-2	044-922-4731
78	馬の博物館	2310015	神奈川県横浜市中区尾上町5-78 オーク関内ビル3F	045-662-8105
79	はまぎんこども宇宙科学館	2350045	神奈川県横浜市磯子区洋光台5-2-1	045-832-1166

	機関名	〒	所在地	電話
80	横須賀市自然・人文博物館	2380016	神奈川県横須賀市深田台95	046-824-3688
81	観音崎自然博物館	2390813	神奈川県横須賀市鴨居4-1120	046-841-1533
82	ロマンスカーミュージアム	2430438	神奈川県海老名市めぐみ町1-3	046-233-0909
83	神奈川県立生命の星・地球博物館	2500031	神奈川県小田原市入生田499	0465-21-1515
84	新江ノ島水族館	2510035	神奈川県藤沢市片瀬海岸2-19-1	0466-29-9960
85	平塚市博物館	2540041	神奈川県平塚市浅間町12-41	0463-33-5111
86	糸魚川フォッサマグナミュージアム	9410056	新潟県糸魚川市一ノ宮1313番地	0255-53-1880
87	上越科学館	9420063	新潟県上越市下門前446-2	025-544-2122
88	新潟県立自然科学館	9500948	新潟県新潟市中央区女池南3-1-1	025-283-3331
89	富山県 立山カルデラ砂防博物館	9301405	富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂68	076-481-1160
90	富山県 立山博物館	9301406	富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1	076-481-1216
91	黒部市吉田科学館	9380005	富山県黒部市吉田574-1	0765-57-0610
92	富山市科学博物館	9398084	富山県富山市西中野町1-8-31	076-491-2123
93	のとじま水族館	9260216	石川県七尾市能登島曲町15部40	0767-84-1271
94	セーレンプラネット 福井市自然史博物館分館	9100006	福井県福井市中央1丁目2-1 ハピリン5階	0776-43-1622
95	福井県立恐竜博物館	9118601	福井県勝山市村岡町寺尾51-11	0779-88-0001
96	福井県自然保護センター	9120131	福井県大野市南六呂師169-11-2	0779-67-1655
97	原子力の科学館 あつとほうむ	9140024	福井県敦賀市吉河37-1	0770-23-1710
98	福井市自然史博物館	9188006	福井県福井市足羽上町147	0776-35-2844
99	福井県児童科学館	9190475	福井県坂井市春江町東太郎丸3-1	0776-51-8000
100	山梨県立科学館	4000023	山梨県甲府市愛宕町358-1	055-254-8151
101	長野市立博物館分館 信州新町化石博物館	3812404	長野県長野市信州新町上条87-1	026-262-3500
102	sakumo 佐久市子ども未来館	3850022	長野県佐久市大字岩村田1931-1	0267-67-2001
103	飯田市美術博物館	3950034	長野県飯田市追手町2-655-7	0265-22-8118
104	大町エネルギー博物館	3980001	長野県大町市大字平2112-38	0261-22-7770
105	阿南町化石館	3991505	長野県下伊那郡阿南町富草3905	0260-22-2273
106	大鹿村中央構造線博物館	3993502	長野県下伊那郡大鹿村大河原988	0265-39-2205
107	岐阜市科学館	5008389	岐阜県岐阜市本荘3456-41	058-272-1333
108	岐阜県博物館	5013941	岐阜県関市小屋名字小洞1989	0575-28-3111
109	公益財団法人岐阜天文台	5016122	岐阜県岐阜市柳津町高桑西3-75	058-241-0055
110	内藤記念くすり博物館	5016195	岐阜県各務原市川島町竹早町1	0586-89-2101
111	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	5040924	岐阜県各務原市下切町5-1	058-386-8500
112	ひだ宇宙科学館 カミオカラボ	5061124	岐阜県飛騨市神岡町夕陽ヶ丘6番地	0578-86-9222
113	中津川市鉱物博物館	5080101	岐阜県中津川市苗木639-15	0573-67-2110
114	瑞浪鉱物展示館	5096121	岐阜県瑞浪市寺河戸町1205	0572-67-2140
115	サイエンスワールド (岐阜県先端科学技術体験センター)	5096133	岐阜県瑞浪市明世町戸狩54	0572-66-1151
116	奇石博物館	4180111	静岡県富士宮市山宮3670	0544-58-3830
117	(公財)国際文化交友会月光天文台	4190101	静岡県田方郡函南町桑原1308-222	0559-79-1428
118	富士川楽座	4213305	静岡県富士市岩淵1488-1	0545-81-5555
119	ふじのくに地球環境史ミュージアム	4228017	静岡県静岡市駿河区大谷5762	054-260-7111
120	静岡科学館 る・く・る	4228067	静岡県静岡市駿河区南町14-25	054-284-6960

	機関名	〒	所在地	電話
121	ディスカバリーパーク焼津天文学館	4250052	静岡県焼津市田尻2968-1	054-625-0800
122	浜松科学館	4300923	静岡県浜松市中央区北寺島町256-3	053-454-0178
123	鳳来寺山自然科学博物館	4411944	愛知県新城市門谷字森脇6	0536-35-1001
124	豊橋市自然史博物館	4413147	愛知県豊橋市大岩町字大穴1-238	0532-41-4747
125	蒲郡市生命の海科学館	4430034	愛知県蒲郡市港町17-17	0533-66-1717
126	碧南海浜水族館	4470853	愛知県碧南市浜町2-3	0566-48-3761
127	トヨタ産業技術記念館	4510051	愛知県名古屋市中区則武新町4-1-35	052-551-6115
128	名古屋市科学館	4600008	愛知県名古屋市中区栄2-17-1	052-201-4486
129	愛知学院大学歯学部歯科資料展示室	4648650	愛知県名古屋市中区千種区楠元町1-100	052-751-2561
130	南知多ビーチランド	4703233	愛知県知多郡美浜町奥田428-1	0569-87-2000
131	トヨタ博物館	4801118	愛知県長久手市横道41-100	0561-63-5151
132	博物館明治村	4840000	愛知県犬山市内山1	0568-67-0314
133	三重県総合博物館	5140061	三重県津市一身田上津部田3060	059-228-2283
134	神宮徴古館農業館	5160016	三重県伊勢市神田久志本町1754-1	0596-22-1700
135	真珠博物館	5178511	三重県鳥羽市鳥羽1-7-1	0599-25-2028
136	鳥羽水族館	5178517	三重県鳥羽市鳥羽3-3-6	0599-25-2555
137	多賀町立博物館	5220314	滋賀県犬上郡多賀町大字四手976-2	0749-48-2077
138	滋賀県立琵琶湖博物館	5250001	滋賀県草津市下物町1091	077-568-4811
139	東近江市森の文化博物館整備室	5278527	滋賀県東近江市八日市緑町10番5号	0748-24-5567
140	みなくち子どもの森	5280051	滋賀県甲賀市水口町北内貴10	0748-63-6712
141	京都鉄道博物館	6008835	京都府京都市下京区観喜寺町	075-323-7592
142	鞍馬山博物館（鞍馬山霊宝殿）	6011111	京都府京都市左京区鞍馬本町1074	075-741-2368
143	京都コンピュータ学院KCG資料館	6018407	京都府京都市南区西九条寺ノ前町10-5	075-762-2030
144	島津製作所 創業記念資料館	6040921	京都府京都市中京区木屋町二条南	075-255-0980
145	京都市青少年科学センター	6120031	京都府京都市伏見区深草池ノ内町13	075-642-1601
146	大阪市立科学館	5300005	大阪府大阪市北区中之島4-2-1	06-6444-5656
147	キッズプラザ大阪	5300025	大阪府大阪市北区扇町2-1-7	06-6311-6601
148	大阪市立自然史博物館	5460034	大阪府大阪市東住吉区長居公園1-23	06-6697-6221
149	高槻市立自然博物館（あくあびあ芥川）	5691042	大阪府高槻市南平台5-59-1	072-692-5041
150	きしわだ自然資料館	5960072	大阪府岸和田市堺町6-5	072-423-8100
151	貝塚市立自然遊学館	5970091	大阪府貝塚市二色3-26-1	072-431-8457
152	神戸市立青少年科学館	6500046	兵庫県神戸市中央区港島中町7-7-6	078-302-5177
153	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	6510073	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2	078-262-5066
154	伊丹市昆虫館	6640015	兵庫県伊丹市昆陽池3-1 昆陽池公園内	072-785-3582
155	玄武洞ミュージアム	6680801	兵庫県豊岡市赤石1362	0796-23-3821
156	兵庫県立人と自然の博物館	6691546	兵庫県三田市弥生が丘6	079-559-2001
157	姫路科学館	6712222	兵庫県姫路市青山1470-15	0792-67-3001
158	明石市立天文学館	6730877	兵庫県明石市人丸町2-6	078-919-5000
159	兵庫県立大学天文学センター	6795313	兵庫県佐用郡佐用町西河内407-2	0790-82-3886
160	橿原市昆虫館	6340024	奈良県橿原市南山町624	0744-24-7246
161	白浜エネルギーランド	6492211	和歌山県西牟婁郡白浜町3083	0739-43-2666

	機関名	〒	所在地	電話
162	太地町立くじらの博物館	6495171	和歌山県東牟婁郡太地町大字太地2934-2	0735-59-2400
163	鳥取県立博物館	6800011	鳥取県鳥取市東町2-124	0857-26-8042
164	さじアストロパーク・佐治天文台	6891312	鳥取県鳥取市佐治町高山1071-1	0858-89-1011
165	出雲科学館	6930001	島根県出雲市今市町1900-2	0853-25-1500
166	島根県立三瓶自然館	6940003	島根県大田市三瓶町多根1121-8	0854-86-0500
167	日原天文台	6995207	島根県鹿足郡津和野町枕瀬806-1	0856-74-1646
168	人と科学の未来館サイピア（岡山県生涯学習センター）	7000016	岡山県岡山市北区伊島町3-1-1	086-251-9752
169	日本化石資料館	7038267	岡山県岡山市中区山崎148-22	086-237-8100
170	津山科学教育博物館（つやま自然のふしぎ館）	7080022	岡山県津山市山下98-1	0868-22-3518
171	倉敷市立自然史博物館	7100046	岡山県倉敷市中央2-6-1	086-425-6037
172	倉敷昆虫館	7100051	岡山県倉敷市幸町2-30（重井病院1F）	086-422-8207
173	倉敷科学センター	7128046	岡山県倉敷市福田町古新田940	086-454-0300
174	笠岡市立カプトガニ博物館	7140043	岡山県笠岡市横島1946-2	0865-67-2477
175	岡山天文博物館	7190232	岡山県浅口市鴨方町本庄3037-5	0865-44-2465
176	福山自動車時計博物館	7200073	広島県福山市北吉津町3-1-22	084-922-8188
177	5-Days こども文化科学館	7300011	広島県広島市中区基町5-83	082-222-5346
178	広島市健康づくりセンター健康科学館	7300052	広島県広島市中区千田町3-8-6	082-246-9100
179	広島市江波山気象館	7300835	広島県広島市中区江波南1-40-1	082-231-0177
180	ヌマジ交通ミュージアム（広島市交通科学館）	7310143	広島県広島市安佐南区長楽寺2-12-2	082-878-6211
181	大和ミュージアム 呉市海事歴史科学館	7370029	広島県呉市宝町5-20	0823-25-3017
182	岩国市科学センター	7400018	山口県岩国市麻里布町6-14-25	0827-22-0122
183	防府市青少年科学館	7470809	山口県防府市寿町6-41	0835-26-5050
184	山口県立山口博物館	7530073	山口県山口市春日町8-2	083-922-0294
185	美祿市立秋吉台科学博物館	7540511	山口県美祿市秋芳町秋吉1237-938	0837-62-0640
186	美祿市歴史民俗資料館	7592292	山口県美祿市大嶺町東分279-1	0837-53-0189
187	徳島県立博物館	7708070	徳島県徳島市八万町向寺山文化の森総合公園	088-668-3636
188	徳島県立あすたむらんど子ども科学館	7790111	徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷45-22	088-672-7111
189	情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ	7600019	香川県高松市サンポート2-1	087-822-0111
190	香川県立五色台少年自然センター	7618002	香川県高松市生島町423番地	087-881-4428
191	面河山岳博物館	7911710	愛媛県上浮穴群久万高原町若山650番地1	0892-58-2130
192	愛媛県総合科学博物館	7920060	愛媛県新居浜市大生院2133-2	0897-40-4100
193	高知みらい科学館	7800842	高知県高知市追手筋2-1-1	088-823-7767
194	越知町立横倉山自然の森博物館	7811303	高知県高岡郡越知町越知丙737-12	0889-26-1060
195	佐川地質館	7891201	高知県高岡郡佐川町甲360	0889-22-5500
196	北九州市科学館（スペースLABO）	8050071	福岡県北九州市八幡東区東田4-1-1	093-671-4566
197	北九州市立自然史・歴史博物館	8050071	福岡県北九州市八幡東区東田2-4-1	093-681-1011
198	福岡市科学館	8100044	福岡県福岡市中央区六本松4-2-1	092-731-2525
199	福岡県青少年科学館	8300003	福岡県久留米市東櫛原町1713	0942-37-5566
200	佐賀県立宇宙科学館	8430021	佐賀県武雄市武雄町大字永島16351	0954-20-1666
201	熊本博物館	8600007	熊本県熊本市中央区古京町3-2	096-324-3500
202	御船町恐竜博物館	8613207	熊本県上益城郡御船町御船995-6	096-282-4051

	機関名	〒	所在地	電話
203	天草市立御所浦恐竜の島博物館	8660313	熊本県天草市御所浦町御所浦4310-5	0969-67-2325
204	熊本県博物館ネットワークセンター	8690524	熊本県宇城市松橋町豊福1695	0964-34-3301
205	南阿蘇ルナ天文台	8691502	熊本県阿蘇郡南阿蘇村白川1810	0967-62-3006
206	阿蘇火山博物館	8692232	熊本県阿蘇市赤水1930-1	0967-34-2111
207	宮崎県総合博物館	8800053	宮崎県宮崎市神宮2-4-4	0985-24-2071
208	宮崎科学技術館	8800879	宮崎県宮崎市宮崎駅東1-2-2	0985-23-2700
209	宮崎大学農学部附属農業博物館	8892155	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-2898
210	鹿児島市立科学館	8900063	鹿児島県鹿児島市鴨池2-31-18	099-250-8511
211	屋久杉自然館	8914311	鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2739-343	0997-46-3113
212	出水市ツル博物館クレインパークいずみ	8990208	鹿児島県出水市文化町1000	0996-63-8915
213	沖縄県立博物館・美術館	9000006	沖縄県那覇市おもろまち3-1-1	098-851-5401
214	琉球大学博物館（風樹館）	9030129	沖縄県中頭郡西原町字千原1	098-895-8841

## 維持会員

	機関名	〒	所在地	電話
1	一般財団法人 日本宇宙フォーラム	1010062	東京都千代田区神田駿河台3-2-1	03-6206-4902
2	株式会社トータルメディア開発研究所	1020094	東京都千代田区紀尾井町3-23	03-3221-5558
3	AGC保険マネジメント株式会社	1040041	東京都中央区新富2-15-5	03-6222-5011
4	パナソニック コネクト株式会社	1040061	東京都中央区銀座8-21-1汐留浜離宮ビル	080-1232-8136
5	株式会社さらい	1050011	東京都港区芝公園3-1-13	03-5777-5206
6	株式会社ロココ	1050014	東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル3F	03-3769-0655
7	株式会社パレオサイエンス	1070052	東京都港区赤坂3-11-14	03-5575-3651
8	株式会社丹青研究所	1080075	東京都港区港南1-6-41芝浦クリスタル品川10F	03-6455-8280
9	株式会社丹青社	1088220	東京都港区港南1-2-70品川シーズンテラス19F	03-6455-8134
10	カラータ株式会社	1120002	東京都文京区小石川5-37-6 M-ONEビル	03-5842-4622
11	株式会社ムラヤマ	1350061	東京都江東区豊洲3-2-2 4 豊洲フォレシア	03-6221-0808
12	株式会社乃村工藝社	1358622	東京都港区台場2-3-4	03-5962-1171
13	株式会社学研ホールディングス	1418510	東京都品川区西五反田2-11-8	03-6431-1400
14	株式会社東京サイエンス	1510051	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-2	03-3350-6725
15	株式会社ゼネラルサイエンスコーポレーション	1700005	東京都豊島区南大塚3-11-8	03-5927-8356
16	コニカミノルタプラネタリウム株式会社	1708630	東京都豊島区東池袋3-1-3	03-5985-1700
17	株式会社五藤光学研究所	1830025	東京都府中市矢崎町4-16	042-362-5311
18	株式会社ココロ	2050023	東京都羽村市神明台4-9-1	042-530-3911
19	株式会社JVCケンウッド	2210022	神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12	045-444-5401
20	株式会社西尾製作所	6078168	京都府京都市山科区柳辻池尻町48	075-594-0181
21	マイクロドローン撮影 森本広志	-	-	-

## 購読会員

	会員名
1	奥田 信久
2	カメイ美術館
3	株式会社オカムラ パブリック営業部
4	公益財団法人 日本科学協会
5	株式会社ノムラメディアス
6	齊藤 恵理
7	石川光学造形研究所
8	日本大学文理学部 図書館
9	有賀 暢迪
10	真中 恭子
11	株式会社西日本ミュージアムサービス

# 全国科学博物館協議会会則

昭和46年4月6日	制 定
昭和56年7月1日	一部改正
平成22年2月25日	一部改正
平成28年3月31日	一部改正
平成29年2月16日	一部改正
令和3年6月2日	一部改正

第1条 本会は、全国科学博物館協議会と称する。

第2条 本会は、事務局を理事長館におく。

第3条 本会は、全国の自然史及び理工系博物館並びにこれらを含む総合博物館(科学博物館の機能をもつ科学教育施設等を含む。以下同じ。)が相互の連絡協調を密にして博物館事業の振興に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 一 調査、研究及び情報の交換
- 二 資料、文献等の交換及び貸借の斡旋
- 三 研究会、講演会等の開催
- 四 自然史及び理工系博物館に関する普及広報
- 五 機関紙の発行及び研究成果の発表
- 六 その他の博物館事業振興に必要な事業

第5条 会員は正会員、維持会員及び購読会員とする。また、名誉会員を置くことができる。

- 2 正会員は、自然史及び理工系博物館並びにこれらを含む総合博物館とする。
- 3 正会員は、別に定める会費又はこれに相当する実費を負担するものとする。
- 4 維持会員は、本会の趣旨に賛同し、別に定める維持会費を負担するものとする。
- 5 購読会員は、本会の趣旨に賛同し、別に定める購読会費を負担するものとする。
- 6 名誉会員は、長きにわたり本会の運営に従事し、本会の存続と発展に多大な貢献したと理事会によって認められた者とし、会費は負担しないものとする。

第6条 本会に理事館および監事館を置く。また、顧問を置くことができる。

- 2 理事館、監事館は、総会において正会員の中から選出する。
- 3 理事館、監事館の代表者をそれぞれ理事、監事とする。

- 4 理事長館は、理事会において、理事館の中から選出する。理事長館の代表者を理事長とし、理事長は、本会を代表する。理事長に事故があったときは、あらかじめ理事長が指名した理事が、本会を代表する。
- 5 顧問は、理事会において、名誉会員の中から選出する。
- 6 理事長、理事及び監事、顧問の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 7 理事及び監事は、任期終了後も後任者が就任するまでは、なおその職務を行うものとする。

第7条 本会の運営は、理事会がこれに当たる。

- 2 本会の常務は、理事会が選出した常務理事がこれに当たる。
- 3 本会の会計監査は、監事がこれに当たる。
- 4 理事会の運営については別途定める。

第8条 本会は、毎年2回総会を開く。

- 2 理事長が必要と認めたとき、臨時に総会を開くことができる。
- 3 総会は、本会の予算、事業計画及び決算、事業報告その他重要事項を決議し、又は承認する。
- 4 購読会員は総会で意見を述べるができるが、議決権はないものとする。
- 5 総会の運営については別途定める。

第9条 本会には、自然史部会及び理工学部会その他必要とする部会をおくことができる。

- 2 部会長は、理事の中から適任者を理事会で決める。
- 3 部会の運営について必要な事項は、それぞれの部会が定める。

第10条 本会の経費は、別に定める会費又はこれに相当する実費、寄附金、その他の収入をもって当てる。

第11条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第12条 本会は、特定の事業を行うに当たり一般の収入支出と区分して経理する必要がある場合に、総会の承認を得て特別会計を設けることができる。

第13条 本会則の変更は、理事会の議を経て総会の承認を得なければならない。

#### 附 則

本会則は、昭和46年4月1日から施行する。

#### 附 則

本会則は、昭和56年7月2日から施行する。

附 則

本会則は、平成22年2月26日から施行する。

附 則

本会則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

本会則は、平成29年2月17日から施行する。

附 則

本会則は、令和3年6月2日から施行する。

# 全国科学博物館協議会会費規程

昭和46年4月1日 制定

平成6年3月2日 一部改正

平成28年2月29日 一部改正

会則第5条第3項、第4項、第10条の規定により、会費又はこれに相当する実費、購読会費及び維持会費を次のように定める。

1 理事長館	60,000円
2 理事館（監事館を含む。）、国立及び都道府県立、指定都市立の博物館 又は教育施設等	20,000円以上
3 その他の博物館又は教育施設等	10,000円
4 購読会員	4,000円
5 維持会員	50,000円以上
6 名誉会員	会費は徴収しない

## 附 則

この規程は、昭和46年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、昭和56年7月2日から施行し、昭和57年4月1日から実施する。

## 附 則

この規程は、平成6年3月3日から施行し、平成6年4月1日から実施する。

## 附 則

この規程は、平成28年3月31日から施行し、平成28年4月1日から実施する。

## 全国科学博物館協議会理事会運営規程

平成29年2月16日 制定

令和7年7月3日 一部改正

第1条 この規程は、全国科学博物館協議会会則（以下、「会則」という。）第7条第4項の規定に基づき、理事会を開催する際に必要な手順や、円滑な運営の要領を定めることを目的とする。

第2条 理事会とは、全国科学博物館協議会（以下、「本会」という。）が行う通常理事会及び臨時理事会をいう。

第3条 理事会は、理事長、理事及び監事（以下、「役員」という。）をもって構成する。

2 理事会には、顧問を出席させることができる。

3 理事会には、必要に応じ、役員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を求めることができる。

第4条 理事会は、会則に定めるもののほか、本会の運営に関する重要な事項を決議し、又は承認する。

第5条 通常理事会は、年2回開催する。

2 臨時理事会は、次の各号の一に該当するときに開催する。

一 理事長が必要と認め招集の請求をしたとき

二 理事長を除く役員のうち5分の1以上から理事会の目的を記載した書面により請求をしたとき

3 臨時理事会は、インターネット等の通信回線を使用しての審議、決議をもって代えることができる。

4 前項の運用については別途定める。

第6条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、会則第6条4項に定める者が理事会を招集する。

3 理事会を招集する者は、前条第2項第2号の規程による請求があったときは、その請求があった日から90日以内に理事会の招集を通知しなければならない。

第7条 理事会を招集するときは、理事会の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面

をもって、少なくとも開催日の10日前までに役員に通知しなければならない。

2 前項の書面による通知に代えて、インターネット等の通信回線を使用した方法により通知することができる。

第8条 理事会は、議決権を有する役員と委任状提出者の合計が、議決権を有する役員総数の過半数により成立する。

第9条 役員は、やむを得ず理事会に出席できない場合、次の各号の一該当するとき出席したものとする。

- 一 所属する機関のうちから当該役員が指名した者が出席したとき
- 二 委任状を提出して他の構成メンバーに表決を委任したとき

第10条 委任状は、役員の記名によるものとする。

2 委任状は、受任者の名前の記載なき場合及び期限までに提出がない場合は、理事長に委任したものとする。

第11条 事務局は、理事会の出席者の確認を行い、委任状の数をもとにした成立要件について理事長に報告しなければならない。

第12条 理事会の議事進行は、理事長が行う。

第13条 理事会の議事は、議決権を有する会員の過半数の承認をもって決し、可否同数のときは、理事長の決するところによる。

附 則

本規程は、平成29年4月1日より施行する。

附 則

本規程は、令和7年7月3日より施行する。

## 全国科学博物館協議会総会運営規程

平成29年2月16日 制定

令和7年2月12日 一部改正

第1条 この規程は、全国科学博物館協議会会則第8条第5項の規定に基づき、総会を開催する際に必要な手順や、円滑な運営の要領を定めることを目的とする。

第2条 総会とは、全国科学博物館協議会（以下、「本会」という。）が行う通常総会及び臨時総会をいう。

第3条 総会は、正会員、維持会員及び名誉会員を構成員とする。購読会員も出席し意見を述べるができるが、議決権は有しない。

第4条 総会は、会則に定めるもののほか、本会の運営に関する重要な事項を決議し、又は承認する。

第5条 通常総会は、年2回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当するときに開催する。

- 一 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき
- 二 正会員の3分の1以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求をしたとき

第6条 総会は、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2項の規定による請求があったときは、90日以内に臨時総会を招集しなければならない。

第7条 総会を招集するときは、総会の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも開催日の10日前までに会員に通知しなければならない。

2 前項の書面による通知に代えて、インターネット等の通信回線を使用した方法により通知することができる。

第8条 総会は、議決権を有する会員と委任状提出者の合計が、議決権を有する会員総数の過半数により成立する。

第9条 総会の構成員は、やむを得ず総会に出席できない場合、委任状を提出して他の構成員に表決を委任することができる。

2 委任状を提出した者は、総会に出席したものとみなす。ただし、受任者の名前の記載なき場合及び期限までに委任状の提出がない場合は、理事長に委任したものとみなす。

3 委任状は、各会員の代表者の記名によるものとし、定められた期日までに事務局に提出されたものを有効とする。

第10条 事務局は、総会の出席者の確認を会員種別ごとに行い、委任状の数をもとに成立要件について理事長に報告しなければならない。

第11条 総会の議事進行は、理事長が行う。

2 理事長は、速やかな議事進行に務める。また、理事長は、議事進行を著しく乱す者に対してその言動を制止させ、あるいは総会会場から退席させることができる。

第12条 総会での発言は、理事長の許可を必要とする。

第13条 総会の議事は、議決権を有する会員の過半数の承認をもって決し、可否同数のときは、理事長の決するところによる。

2 以下の議案の場合は、正会員総数の4分の3以上の賛同を必要とする。

- 一 役員の罷免
- 二 会員の除名
- 三 本会の解散

附 則

本規程は、平成29年4月1日より施行する。

附 則

本規程は、令和7年4月1日より施行する。

全国科学博物館協議会研究発表大会運営委員会設置要綱

令和6年7月4日制定

1. 設置目的

全国科学博物館協議会（以下「全科協」という。）研究発表大会を開催するにあたり、テーマや発表者の選定等企画方法について検討するため、全科協研究発表大会運営委員会（以下「運営委員会」という。）を設置する。

2. 運営委員会の構成

運営委員会は、理事長により委嘱された次の運営委員若干名をもって構成する。

- (1) 原則として前年度本大会開催館に所属する者、当年度本大会開催館に所属する者、および全科協事務局に所属する者をもって構成する。
- (2) 上記のほか必要に応じ、理事長の指名する者を加えることができる。
- (3) 庶務は全科協事務局が行うものとする。

3. 任期

運営委員の任期は、委嘱を受けた日から翌年の3月末日までとし、再任を妨げない。

4. 職務

運営委員の職務内容は次のとおりとする。

- (1) 開催方針の検討  
過去の研究発表大会実績および博物館に係る社会の動向を踏まえたうえで、テーマや開催方針を検討する。
- (2) 研究発表大会運営に係る助言  
大会の進行プログラム検討において助言を行う。発表者が多い場合にテーマを考慮し発表者の選定を行う。また研究発表大会当日、分担して運営を行う。
- (3) その他

5. 運営委員会の開催

原則として年2回程度とする。

6. 交通費及び旅費

運営委員には運営委員会の現地出席等で必要な都度、交通費及び旅費を支給する。

附 則

この運営委員会の設置は、令和7年4月1日から実施する。

# 全国科学博物館協議会 事務局からのお知らせ

## 1. メーリングリストの運用について

全国科学博物館協議会では、現在メーリングリストを運用しています。加盟館同士の情報交換や、アンケート調査など気軽にご利用ください。随時参加者募集中です。皆様の積極的なご参加、ご活用をお待ちしています。メーリングリストへの参加方法を含む、運用方針につきましては、別紙をご覧ください。

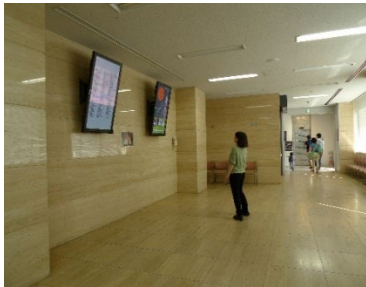
## 2. 各種広報のご協力について

### ○国立科学博物館地球館 1 階のデジタル掲示板

国立科学博物館地球館1階オープンスペースに設置されたデジタル掲示板にて、加盟館園の情報を発信しています。(PDF、パワーポイントによる画像の上映)

デジタル掲示板は、休憩スペースに面しており、休憩時や往来の際など、お客様の目に触れることも多い場所に設置しています※。ぜひ積極的な情報発信にご活用ください。ご利用の際は全科協事務局 (info@jcsmj.jp) までメールにてお申し込みください。

※オープンスペースで展示を行う際など、掲示板を稼動しない期間もございます。ご了承ください。



### ○加盟館園所有の巡回展事業

毎年5月頃、各加盟館園所有の巡回展等の情報を発信しています。他館への貸出可能な展示等をお持ちの館がありましたら全科協事務局 (info@jcsmj.jp) までお知らせください。

## 3. HPの活用について

### ○総会資料のダウンロード

平成27年度以降の総会資料はHP上からダウンロードが可能です。

### ○投稿(会員情報の変更・特別展・リニューアル情報)

HP上から各種投稿を行うことができます。

#### ● 会員情報の変更

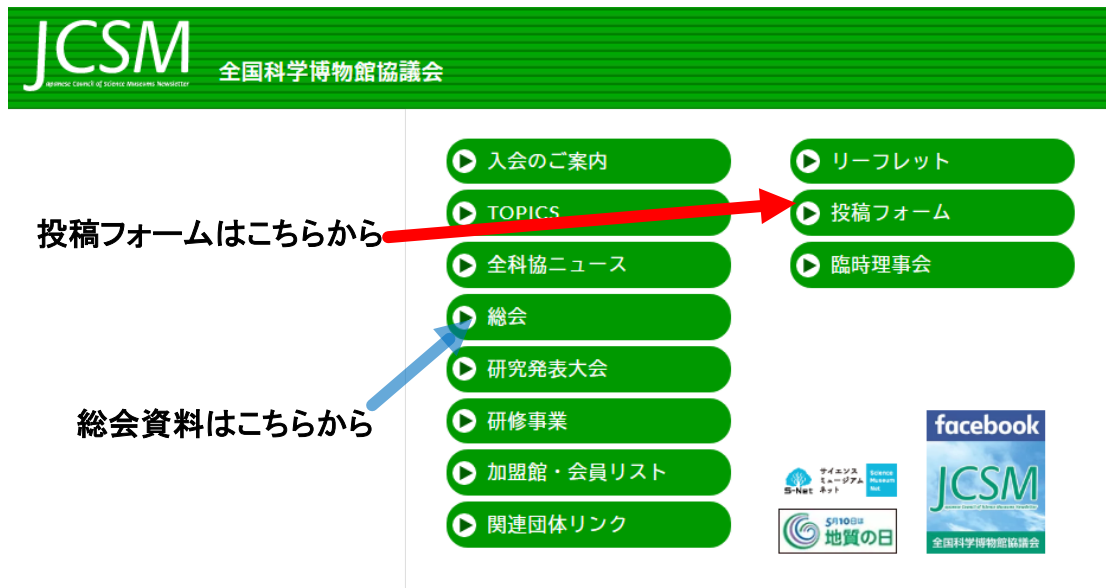
館名や代表者、担当者、連絡先等の変更については、事務局よりお送りする書式で報告いただくことも可能ですが、HP上でも受け付けています。(正会員、維持会員のみ)

#### ● 特別展・リニューアル情報の投稿

全科協ニュースに掲載する特別展、リニューアル情報をHPから投稿いただけます。編集作業効率化の為、できるだけHPから情報提供いただくようご協力お願いいたします。

全科協ホームページ <https://jcs.jp/>

※2022年10月3日より、ホームページリニューアルしました。URLも変更されました。



★会員限定ページには下記のユーザー名とパスワードの入力が必要です。

投稿フォーム

ユーザー名:jcsm1967

パスワード:zenka-toukou9863

総会資料

ユーザー名:jcsm1967

パスワード:zenka-soukai9863

## 全科協メーリングリスト hiroba(a)jcs.jp ((a)は@に変換) の運用方針

### ○基本的考え方

全国科学博物館協議会加盟館園の皆様が日常的に各館園の業務上の情報交換を行うことが可能な場所として活用いただくことを目的とします。

### ○メーリングリストへ登録される方

当面は全科協加盟正会員及び維持会員に所属の方であれば、どなたでも登録可能です。事前審査等はありませんが、全科協正会員又は維持会員に所属していないことが明らかとなった場合は登録削除させていただく場合があります。

また、メーリングリスト内から複数の登録削除の申し出等があった場合は事務局の判断により削除させていただくことがあります。

### ○メーリングリストを利用して投稿・発信が望まれる例

(1) 次のような場合は、メーリングリストを利用した情報交換が望まれます。

- ・海外先進施設調査訪問先の調査国事情の現状に関する情報提供や海外先進施設調査参加希望者に対する情報提供など海外事情に関する情報交換（メーリングリスト内で特定のメールアドレスのやりとりなど個人情報の提供はしないでください）
- ・全科協の活用方法に関するアイディア提供など全科協活性化のための方策に関する意見交換
- ・地域で行われる研究会や研修など他館園への情報提供（特別展情報など広報・告知のみの場合は全科協ニュースへの投稿とし、本メーリングリストへの投稿は行わないでください）
- ・人材募集、年報報告等の自館園の情報提供
- ・複数の他館園に対する展示や学習支援活動など学芸業務等の質問や疑問等に関する意見交換
- ・あくまでも公益性を担保した範囲での維持会員等による技術情報等の提供
- ・その他、加盟館園にとって有益と思われる情報

(2) 次のような場合には投稿・発信をご遠慮ください。

なお、以下の場合は明らかとなった場合についての一切の損害については、全科協は一切責任を負いません。

- ・不法な目的若しくは犯罪にかかわる目的で本サービスを利用すること。
- ・嫌がらせ、中傷、誹謗、罵倒、脅し、有害、俗悪、わいせつ、その他性質の不埒なものを配信すること。

- ・公序良俗に反する行為、偏見、人種差別、憎悪を助長する行為、法律および規則を犯す行為、全科協、全科協加盟館園若しくは第三者に対し危害、損害を与える行為、あるいはそれらにつながる情報を配信すること。
- ・ジャンクメール、スパム、チェーンレター等正当な通信目的以外のメールを送信すること。
- ・本サービスあるいは本サービスに接続されたサーバー、コンピュータシステム、ネットワークを妨害あるいは混乱させる行為。コンピュータウイルス等の有害なコンピュータプログラムを送信または掲載する行為。
- ・全科協、全科協加盟館園若しくはその他の第三者の著作権、言論権、特許権、企業秘密、知的所有権等の権利を侵害する行為若しくは第三者に不利益を与える行為。
- ・第三者の電子メールアドレスや虚偽の情報を投稿・配信すること。
- ・第三者の電子メールアドレスを含む個人情報をも本人の承諾なく使用、収集すること。
- ・全科協又は全科協加盟館園の名誉または信用を毀損する行為
- ・その他、上記に該当するおそれのある行為またはこれに類する行為であると判断する行為を行うこと。

#### ○メーリングリスト使用方法

##### (1) 参加方法

事務局 (info(a)jcs.jp((a)は@に変換)宛てに参加申し込みのメールをお送りください。※メールの件名は「全科協メーリングリストへの登録希望」としてください。  
登録が完了しましたら事務局よりご連絡を差し上げます。

##### (2) 投稿方法

メーリングリストを利用して情報を発信したい方は、その内容を hiroba(a)jcs.jp ((a)は@に変換)宛てにメールで投稿してください。投稿はメーリングリスト登録のメールアドレスからのみできます。

##### (3) 削除について

異動、退職などでメーリングリストからの削除を希望される場合は、事務局 (info(a)jcs.jp((a)は@に変換)宛てにメールをお送りください。※メールの件名は「全科協メーリングリストからの削除希望」としてください。

削除が完了しましたら事務局よりご連絡を差し上げます。

## 全科協令和7年度第2回総会・第33回研究発表大会 アンケート

第2回総会、第33回研究発表大会にご参加いただきありがとうございます。今後の運営の参考のため、アンケートのご協力をお願いします。各項目について、該当する□にチェックを入れてください。所属館園としてではなく、参加者個人のご意見として記入いただくので結構です。



右の二次元コードを読み取っていただくと、同アンケートを Google form で回答できますので是非ご利用ください。

URL: <https://forms.gle/6LrmSGU7QWTEi75DA>

### 【全体について】

1. 開催時期はいかがでしたか  適当  どちらともいえない  不適當 (希望開催時期: \_\_\_\_\_ 月頃)

### 【総会について】

2. 総会の運営はいかがでしたか  とても良い  良い  ふつう  悪い  とても悪い  
→お気づきの点があればご指摘ください

---

3. 今後、どのような方に(記念)講演をしてほしいですか(全科協加盟館関係者、研究者、経営者など。個人指定でも)

---

4. 各種報告はいかがでしたか  とても良い  良い  ふつう  悪い  とても悪い  
→お気づきの点があればご指摘ください

---

### 【研究発表大会について】

5. プログラム構成(講演などを入れず、研究発表と総括のみの構成とした)についてはいかがでしたか  
 とても良い  良い  ふつう  悪い  とても悪い

---

6-1. 口頭事例発表の内容はいかがでしたか  
 とても良い  良い  ふつう  悪い  とても悪い

6-2. 口頭事例発表のボリューム(発表件数、一人あたりの発表時間など)はいかがでしたか  
件数 :  多い  やや多い  丁度良い  やや少ない  少ない  
発表時間 :  長い  やや長い  丁度良い  やや短い  短い

7-1. ポスター発表の内容はいかがでしたか ※現地参加のみ  
 とても良い  良い  ふつう  悪い  とても悪い

7-2. ポスター発表の運営(時間帯や発表者による解説など)はいかがでしたか ※現地参加のみ  
 とても良い  良い  ふつう  悪い  とても悪い  
→お気づきの点があればご指摘ください

---

8. その他、研究発表大会の運営全般について、お気づきの点があればご指摘ください

---

9. 日程の組み方(理事会・総会が1日目、研究発表大会が2日目)についていかがでしたか

とても良い      良い      ふつう      悪い      とても悪い

→お気づきの点があればご指摘ください

---

10. 今後研究発表大会で取り上げて欲しいテーマ、キーワードなどがあればご記入ください(国際化、観光対策、指定管理者制度、地域連携、リスクマネジメント など)

---

11. 今後、研究発表大会のプログラムとして実施を希望するものはありますか。(パネルディスカッション、テーマごとに分かれての班別討議、維持会員による研修会、ガイド付きの会場館見学会など)

---

#### 【情報交換会について】

12. 情報交換会の内容はいかがでしたか

とても良い      良い      ふつう      悪い      とても悪い

→お気づきの点があればご指摘ください

---

13. 情報交換会の開催時間はいかがでしたか

長い      やや長い      丁度良い      やや短い      短い

【全科協ニュースについて】

14. 全科協ニュースをどの媒体で読んでいますか

紙媒体      電子版      紙媒体と電子版の両方      読んでいない

15. (Q14 で「読んでいない」と回答された方へ)読んでいない理由は何ですか(複数回答可)

時間がない      内容に関心がない      回覧等がなく読む機会がない      存在を知らなかった

16. (Q14 で「読んでいる」旨で回答された方へ)読んでいる内容は何ですか(複数回答可)

特集記事      海外博物館事情      特別展情報      リニューアル情報      我が館の推しなモノ・コト

17. これまでの特集記事のフォントサイズはいかがですか

小さい      やや小さい      丁度良い      やや大きい      大きい

18. もしフォントを大きくした場合、掲載できる情報量が減りますが、読みやすさと情報量のどちらを求めていますか

読みやすさ(今よりもフォントを大きく)      情報量(今の情報量のまま)

19. その他、全科協ニュースについてご意見・ご要望があればご記入ください

---

【その他】

20. 第2回総会の開催館として開催のご希望があれば、機関名とお名前、ご連絡先をご記入ください

---

21. その他ご意見・ご要望があればご記入ください

---

会員種別      正会員      維持会員      購読会員

機関名(可能であればご記載ください)

---

ご協力ありがとうございました。

令和7年度第2回全国科学博物館協議会  
理事会・総会・第33回研究発表大会

# 参加証

JCSM  
Japanese Council of Science Museums Newsletter

全国科学博物館協議会

## 全国科学博物館協議会 令和7年度第2回総会等 出席者名簿

※現地出席＝●、オンライン出席＝○

※①自然史標本棟/標本・資料棟特別見学ツアー、②筑波実験植物園バックヤードツアー

※2/9（月）時点

	施設名	役職	氏名	総会	研究発表大会	情報交換会	オフショール ツアー
1	札幌市青少年科学館	館長	西川 英一	●	●	●	②
2	札幌市青少年科学館	学芸課展示係	西飯 彩華		●		
3	あすなろ会こども遊学館（釧路市こども遊学館）	館長	荒井 誠	○	○		
4	岩手県立博物館	館長	坂本 美知治	●	●		①
5	盛岡市子ども科学館	館長	浪岡 潤一	○	○		
6	奥州市牛の博物館	館長	麻生 久	○			
7	秋田県立博物館	館長	阿部 雅彦	○	○		
8	秋田県立博物館	学芸主事	藤中 由美		○		
9	ふくしま森の科学体験センター	事業グループマネージャー	本多 淳嗣	○	○		
10	福島県環境創造センター	総務企画部企画課 主査	淵上 修平	○	○		
11	福島県環境創造センター	総務企画部企画課 技師	桑原 美咲	●	●		①
12	高柳電設工業スペースパーク（郡山市ふれあい科学館）	事業課 主任	梅本 顕史	●	●	●	①
13	磐梯山噴火記念館	館長	佐藤 公	●	●	●	①
14	東日本大震災・原子力災害伝承館	事業課 課長	坂本 久	●	●		①
15	東日本大震災・原子力災害伝承館	企画事業部 事業課 課長代理（学芸員）	瀬戸 真之	●	●	●	①
16	ツムラ漢方記念館	ツムラ漢方記念館 館長	吉田 勝明	○	○		
17	産業技術総合研究所 地質標本館	館長	中澤 努	●	●	●	①
18	産業技術総合研究所 地質標本館	地質標本館室長	武井 勇二郎	○	●		
19	産業技術総合研究所 地質標本館	地質標本館室運営グループ長	瀬口 寛樹	●	●		
20	産業技術総合研究所 地質標本館	地質標本館室	川邊 禎久	●	●		①
21	産業技術総合研究所 地質標本館	地質標本館室	中村 由美	○	○		
22	産業技術総合研究所 地質標本館	地質標本館室運営グループ	藤原 智晴	○	●		
23	産業技術総合研究所 地質標本館	地質標本館室運営グループ	福田 和幸	●	●		②
24	産業技術総合研究所 地質標本館	アーカイブ室	柳澤 教雄	●	●		①
25	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	教育課 主査	高橋 淳		●		
26	日立シビックセンター科学館サクリエ	科学館事業課 課長	高柿 勝博	○			
27	栃木県子ども総合科学館	企画事業課 主任	川股 駿一	●	●	●	②
28	群馬県立自然史博物館	館長	藤巻 薫	●	●	●	
29	群馬県立自然史博物館	次長	静野 聡	○	○		
30	鉄道博物館	館長	石田 亨	●			
31	越谷市科学技術体験センター	主幹	荒井 勇樹	●			①
32	埼玉県立川の博物館	館長	小川 義和	●	●	●	①
33	埼玉県立自然の博物館	館長	細野 仁	○			
34	千葉市科学館	教育普及企画グループ リーダー	金島 光年	●	●	●	②
35	千葉県立中央博物館	館長	四柳 隆	●			②
36	千葉県立中央博物館	企画調整課 上席研究員	監物 うい子	●	●	●	①
37	我孫子市鳥の博物館	主任	望月 みずき	●	●	●	①
38	我孫子市鳥の博物館	学芸員	脇水 徳之		○		
39	千葉県立現代産業科学館	館長	松田 光司	●			①
40	千葉県立現代産業科学館	学芸課 課長	小笠原 淳	●			②

※現地出席=●、オンライン出席=○

※①自然史標本棟/標本・資料棟特別見学ツアー、②筑波実験植物園バックヤードツアー

※2/9 (月) 時点

	施設名	役職	氏名	総会	研究発表大会	情報交換会	オフショール ツアー
41	千葉県立現代産業科学館	普及課 上席研究員	野口 仁志	●	●		
42	科学技術館	副館長	砂子 賢治	●		●	①
43	科学技術館	科学技術館運営部 学芸員	松浦 匡	●	○	●	①
44	港区立みなと科学館	館長	布施 直人	○	○		
45	港区立みなと科学館	教育普及チームリーダー	永島 絹代	○	○		
46	港区立みなと科学館	渉外広報チーム	桂 あゆみ	○	○		
47	港区立みなと科学館	教育普及チームサブリーダー	太田 陽子		○		
48	NHK放送博物館	館長	山本 雅士	●	●	●	①
49	NHK放送博物館	学芸員	川村 誠	●	●	●	①
50	船の科学館	会長	前田 晃	●	●	●	①
51	船の科学館	理事長	吉田 哲朗		●		
52	船の科学館	学芸部 経営企画部 部長	古坂 具巳	○	●		
53	船の科学館	学芸部 課長代理	梶谷 東輝		○		①
54	船の科学館	学芸部	金澤 遼	●	●		①
55	船の科学館	学芸部	和木 美玲	●	●	●	①
56	船の科学館	学芸部	小笠原 知子	●	●	●	①
57	船の科学館	学芸部	飯塚 直美		○		
58	船の科学館	学芸部 学芸課 図書館司書	高橋 昌代	●	●		①
59	船の科学館	経営企画部	内田 明日香	○	○		
60	船の科学館	経営企画部 経営企画課	狩入 ゆかり		○		
61	船の科学館	経営企画部 経営企画課 経営企画 係員	大槻 真祐子	○	●		
62	船の科学館	総務部 総務課長代理	中垣内 玲子		●		①
63	船の科学館	総務部 総務課	狩野 結		●		①
64	船の科学館	総務部 経理課	小松 優子		●		①
65	船の科学館	総務部	杉嶋 貴司		●		①
66	船の科学館	特別プロジェクト室 プロジェクトリーダー	浅川 利昭		○		
67	TEPIA先端技術館	常務理事	渡邊 政嘉	●	●	●	②
68	TEPIA先端技術館	事業部 チーフ	柏崎 舞		●		
69	国立科学博物館	館長	篠田 謙一	●		●	
70	たばこと塩の博物館	館長	菊池 孝徳	●		●	①
71	郵政博物館	主席学芸員	田原 啓祐	○	○		
72	東京ガス株式会社 がすてなーに ガスの科学館	館長	花田 修一	○	●		
73	東京ガス株式会社 がすてなーに ガスの科学館	副館長	三浦 康太郎		○		
74	日本科学未来館	プラットフォーム運営室 室長	富田 知宏	○			
75	日本科学未来館	科学コミュニケーション室 副調査役	濱田 牧子	●			
76	日本科学未来館	科学コミュニケーション室	平井 元康		●		
77	日本科学未来館	科学コミュニケーション室	小林 浩太		●		
78	日本科学未来館	科学コミュニケーション室 科学コミュニケーター	三浦 菜摘		●		

※現地出席＝●、オンライン出席＝○

※①自然史標本棟/標本・資料棟特別見学ツアー、②筑波実験植物園バックヤードツアー

※2/9（月）時点

	施設名	役職	氏名	総会	研究発表大会	情報交換会	オフショール ツアー
79	日本科学未来館	サイエンスコミュニケーション室	新村 友里	○	○		
80	日本科学未来館		王 溪月		○		
81	日本科学未来館		久保 知瑛里		○		
82	日本科学未来館		永田 順子		○		
83	目黒寄生虫館	館長	倉持 利明	●	●	●	
84	板橋区立教育科学館	学術顧問	池辺 靖	●	●	●	②
85	板橋区立教育科学館	事業企画部	佐藤 楓	●	●		②
86	東京農工大学科学博物館	館長	中澤 靖元	○	○		
87	東京農工大学科学博物館	特任助教 学芸員	齊藤 有里加		●		
88	東京農工大学科学博物館	学芸員/非常勤	上田 裕尋	○	○		
89	多摩六都科学館	自然グループリーダー	原 朋子	●	○	●	②
90	川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）	館長	久保 慎太郎	○	○		
91	川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）	科学普及・学校支援担当指導主事	清水 史音		○		
92	はまぎんこども宇宙科学館	副館長	坂巻 たみ	●	○	●	①
93	ロマンスカーミュージアム	館長	吉久 治朗	○	○		
94	神奈川県立生命の星・地球博物館	館長	田中 徳久	●	●	●	②
95	神奈川県立生命の星・地球博物館	主任学芸員	大島 光春	○	○		
96	神奈川県立生命の星・地球博物館	学芸部	石浜 佐栄子	○	○		
97	平塚市博物館	学芸担当	松本 典子	○	○		
98	糸魚川フォッサマグナミュージアム	文化振興課博物館係 学芸員	郡山 鈴夏	●	●		①
99	黒部市吉田科学館	学芸員	野寺 凜		○		
100	富山市科学博物館	館長	笠間 信行	○	○		
101	富山市科学博物館	学芸課 主任学芸員	清水 海渡	●	●	●	①
102	大町エネルギー博物館	館長	上原 達宏	○			
103	大町エネルギー博物館	学芸員	荒井 亮		○		
104	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	学芸課 嘱託職員	丹羽 悦子		○		
105	サイエンスワールド（岐阜県先端科学技術体験センター）	館長	桜井 正之	●	●		①
106	（公財）国際文化交友会月光天文台	台長	鶴谷 律子	○	○		
107	ふじのくに地球環境史ミュージアム	学芸課 准教授	渡辺 友美	○	○		
108	ふじのくに地球環境史ミュージアム	学芸課 准教授	早川 宗志	○	○		
109	ふじのくに地球環境史ミュージアム	学芸課 主任研究員	岡宮 久規	○	○		
110	ふじのくに地球環境史ミュージアム	企画総務課 主査	山崎 里英		○		
111	静岡科学館 る・く・る	事業担当 係長	代島 慶一		○		
112	静岡科学館 る・く・る	事業担当 主事	市川 さやか		○		
113	ディスカバリーパーク焼津天文科学館	事業課 主幹	文字 将也	○	○		
114	浜松科学館	経営管理グループ マネージャー	横田 誓子	●	●	●	①
115	浜松科学館	事業企画グループ 天文チーム	島田 真帆	●	●	●	①
116	鳳来寺山自然科学博物館	新城市教育部生涯共育課	西村 拓真		○		

※現地出席=●、オンライン出席=○

※①自然史標本棟/標本・資料棟特別見学ツアー、②筑波実験植物園バックヤードツアー

※2/9（月）時点

	施設名	役職	氏名	総会	研究発表大会	情報交換会	オプション ツアー
117	蒲郡市生命の海科学館	館長	山中 敦子	○	●		
118	トヨタ産業技術記念館	館長	大洞 和彦	○			
119	トヨタ産業技術記念館	副館長	牧野 功	○	○		
120	トヨタ産業技術記念館	学芸企画グループ グループ マネージャー	早川 喜三郎		○		
121	名古屋市科学館	館長	大路 樹生	●	●	●	①
122	名古屋市科学館	学芸課 学芸員	木田 梨沙子	●	●	●	①
123	愛知学院大学歯学部歯科資料展示室	愛知学院大学歯学部 教授	長谷川 義明	○			
124	トヨタ博物館	館長	榊原 康裕	○	○		
125	トヨタ博物館	学芸員	藤井 麻希	○	○		
126	トヨタ博物館	一般	小室 利恵		○		
127	トヨタ博物館	学芸1グループ グループ長	谷中 耕平	●	●	●	①
128	鳥羽水族館	館長	若井 嘉人	●	●		①
129	滋賀県立琵琶湖博物館	館長	亀田 佳代子	●	●	●	①
130	滋賀県立琵琶湖博物館	学芸員	佐藤 華音	○	○		
131	滋賀県立琵琶湖博物館	専門学芸員	楊 平		○		
132	京都鉄道博物館	館長	松岡 俊宏	●	●	●	①
133	島津製作所 創業記念資料館	館長	川勝 美早子	○	○		
134	島津製作所 創業記念資料館	副主任学芸員	高橋 綾子	○	○		
135	島津製作所 創業記念資料館	学芸員（補助）	大塚 萌夏	○	○		
136	京都市青少年科学センター	事務局長	梶村 文彦	○			
137	京都市青少年科学センター	市民科学事業課長	谷野 陽子		●		
138	京都市青少年科学センター	展示係長	中井 祥平		●		
139	京都市青少年科学センター	指導主事	宮下 舞華		●		
140	大阪市立科学館	学芸課 主任学芸員	嘉数 次人	●	●	●	①
141	大阪市立自然史博物館	館長	川端 清司	●	●	●	
142	大阪市立自然史博物館	学芸課	石井 陽子		●		
143	高槻市立自然博物館（あくあびあ芥川）	学芸員	北村 美香		○		
144	きしわだ自然資料館	岸和田市教育委員会きしわだ 自然資料館館長	岡本 素治	○	○		
145	きしわだ自然資料館	岸和田市教育委員会生涯学習 部郷土文化課長	井上 慎二	○	○		
146	きしわだ自然資料館	岸和田市教育委員会生涯学習 部郷土文化課主査	長谷川 智子	○	○		
147	きしわだ自然資料館	岸和田市教育委員会生涯学習 部郷土文化課主任	柏尾 翔	○	○		
148	きしわだ自然資料館	岸和田市教育委員会生涯学習 部郷土文化課主査	風間 美穂	●	●	●	①
149	きしわだ自然資料館	岸和田市教育委員会生涯学習 部郷土文化課特命参事	平田 慎一郎	○	○		
150	玄武洞ミュージアム	理事長	田中 榮一	○	○		
151	玄武洞ミュージアム	事務局 事務員	安達 大翔		○		
152	兵庫県立人と自然の博物館	館長	村上 哲明	●	●	●	①
153	兵庫県立人と自然の博物館	主任研究員	橋本 佳延	●	●	●	②

※現地出席＝●、オンライン出席＝○

※①自然史標本棟/標本・資料棟特別見学ツアー、②筑波実験植物園バックヤードツアー

※2/9（月）時点

	施設名	役職	氏名	総会	研究発表大会	情報交換会	オプション ツアー
154	兵庫県立人と自然の博物館	自然・環境再生研究部 主任 研究員	黒田 有寿茂	●	●		②
155	姫路科学館	学芸普及担当課長補佐	徳重 哲哉	○	○		
156	明石市立天文科学館	副館長	鈴木 康史	●	●	●	①
157	太地町立くじらの博物館	副館長 学芸部	中江 環		○		
158	鳥取県立博物館	館長	片山 暢博	●	●	●	①
159	鳥取県立博物館	学芸課自然史担当 主幹学芸 員	一澤 圭		○		
160	鳥取県立博物館	学芸課 学芸員	宮澤 研人		●		
161	出雲科学館	課長補佐	立花 明美	○			
162	人と科学の未来館サイピア（岡山県生涯 学習センター）	学芸員	岡 成美		○		
163	広島市江波山気象館	学芸員	田原 みちる	○	○		
164	広島市江波山気象館	学芸員	國宗 治子	○	○		
165	防府市青少年科学館	館長	松本 浩	●		●	①
166	山口県立山口博物館	学芸課 課長	漁 剛志	●	●		①
167	美祢市立秋吉台科学博物館	学芸員（副主幹）	石田 麻里	○	○		
168	面河山岳博物館	学芸員	安田 昂平		●	●	①
169	愛媛県総合科学博物館	学芸課 主事	井下 悠	●	●	●	②
170	愛媛県総合科学博物館	学芸課 専門学芸員	山根 勝枝	●	●	●	①
171	北九州市科学館（スペースLABO）	普及課 事業担当係長	岩崎 幸人	●	●	●	①
172	北九州市立自然史・歴史博物館	館長	真鍋 徹	○	○		
173	福岡市科学館	IPS 2026 LOC事務局 次長	佐藤 正文	●	●	●	①
174	福岡市科学館	総括責任者	上田 恭子	●	●	●	①
175	福岡市科学館	株式会社福岡サイエンス&ク リエイティブ取締役	森岡 武	●	●	●	①
176	福岡市科学館	管理運営責任者	野上 理恵	○	○		
177	福岡市科学館	事業推進SV	高山 裕明		●	●	①
178	福岡市科学館	プロジェクトアドバイザー	高安 礼士	○	○		
179	佐賀県立宇宙科学館	館長	鈴木 明子	●	●	●	①
180	佐賀県立宇宙科学館	宇宙教育プロジェクト	伊藤 明德	●	●	●	①
181	熊本博物館	学芸班 学芸員	清水 稔	○	○		
182	御船町恐竜博物館	学芸員	富澤 由規子		○		
183	天草市立御所浦恐竜の島博物館	館長	早坂 康隆	○			
184	天草市立御所浦恐竜の島博物館	主査（学芸員）	黒須 弘美		○		
185	熊本県博物館ネットワークセンター	所長	山瀬 佳規	○	○		
186	熊本県博物館ネットワークセンター	主事	赤池 麗樹	○	○		
187	熊本県博物館ネットワークセンター	主任主事	樋口 和紀	○	○		
188	鹿児島市立科学館	主事	肥後 修子		○		
189	株式会社トータルメディア開発研究所	PPP・共創事業本部 PPP推 進第1部 副部長	加藤 譲	●		●	①
190	株式会社トータルメディア開発研究所	PPP・共創事業本部 PPP推 進第1部 チーフ	吉武 秀平	●		●	②
191	株式会社トータルメディア開発研究所	東日本営業部	橋本 典文	○	○		

※現地出席＝●、オンライン出席＝○

※①自然史標本棟/標本・資料棟特別見学ツアー、②筑波実験植物園バックヤードツアー

※2/9（月）時点

	施設名	役職	氏名	総会	研究発表大会	情報交換会	オプション ツアー
192	株式会社トータルメディア開発研究所	開発営業本部 西日本営業部	高橋 悠	●	●	●	
193	株式会社トータルメディア開発研究所	プロジェクト事業本部 西日本事業推進第1部 副部長	姉川 泰久	●	●	●	
194	株式会社トータルメディア開発研究所	PPP・共創事業本部 PPP推進第1部 チーフディレクター	森井 映美子	●	○	●	②
195	株式会社トータルメディア開発研究所	プロジェクト事業本部 西日本事業推進第1部	八田 郁生	●	●	●	
196	株式会社ロココ	エンターテインメントソリューション部	有光 誠司	●		●	
197	株式会社丹青研究所	文化空間情報部 部長	石川 貴敏	○	○		
198	株式会社丹青社	文化・交流空間事業部文化空間統括部開発1部1課	坂上 祐作	●	●	●	①
199	株式会社丹青社	文化・交流空間事業部 文化空間統括部 開発1部 1課	大竹 優太	●	●	●	①
200	株式会社乃村工藝社	未来創造研究所 部長	渡邊 創	●	●	●	①
201	株式会社乃村工藝社	営業推進本部 文化環境事業部	横山 昌昇			●	
202	株式会社乃村工藝社	クリエイティブ本部 プランニングプロデュースセンター 企画2部 第4ルーム	山口 千晴	●		●	①
203	株式会社乃村工藝社	事業統括本部営業推進本部 文化環境事業部 営業1部 第1課	上村 まりあ	●	●	●	①
204	株式会社乃村工藝社	クリエイティブ本部 プランニングプロデュースセンター 企画2部 第5ルーム	森 誠一朗	●		●	①
205	株式会社乃村工藝社	クリエイティブ本部 プランニングプロデュースセンター 企画3部 第10ルーム	渡邊 慧子	●		●	①
206	株式会社乃村工藝社	プランナー	増渕 健太	●		●	
207	コニカミノルタプラネタリウム株式会社	取締役	藤掛 曜平	●	●	●	
208	株式会社五藤光学研究所	執行役員 営業本部長	明井 英太郎	●		●	
209	株式会社ココロ	RT営業部	小室 淳	●			②
210	株式会社ココロ	RT営業部	添田 有由未	●			①
211	株式会社ココロ	RT営業部	藤崎 遥		●		
212	株式会社ココロ	RT営業	木戸 佳弥子		●		
213	マイクロドローン撮影 森本広志	代表	森本 広志	●	●	●	①
214	株式会社ノムラメディアス	アカウントプロデュース第2統括本部	板垣 京介	○			
215	株式会社ノムラメディアス	アカウントプロデュース第2統括本部	小谷 浩二	○			
216	株式会社ノムラメディアス	アカウントプロデュース第2統括本部	大野 真弓	○			

※現地出席=●、オンライン出席=○

※①自然史標本棟/標本・資料棟特別見学ツアー、②筑波実験植物園バックヤードツアー

※2/9 (月) 時点

	施設名	役職	氏名	総会	研究発表大会	情報交換会	オプション ツアー
217	一橋大学	言語社会研究科	有賀 暢迪		●		
218	株式会社西日本ミュージアムサービス		佐藤 壮	○	●	●	①
219	株式会社西日本ミュージアムサービス		朝田 美穂	○	●	●	①
220	国土地理院 地図と測量の科学館	地理普及広報官	飯田 勝	●	●		
221	国立科学博物館	理事	栗原 祐司	●	●		
222	国立科学博物館	副館長	細矢 剛	●	●	●	
223	国立科学博物館	科学系博物館イノベーション センター長	有田 寛之		○		
224	国立科学博物館	科学系博物館イノベーション センター マーケティング・ コンテンツグループ 係長	松井 優子		○		
225	国立科学博物館	科学系博物館イノベーション センター マーケティング・ コンテンツグループ	齋藤 朋紀	●	●	●	
226	国立科学博物館	広報・連携課 広報戦略担当	諏訪部 優子	●	●		
227	国立科学博物館	学習課 学校連携担当 専門 員	佐々木 康人	○	●		
228	国立科学博物館	学習課 学校連携担当	荒川 美穂子	○	●		
229	国立科学博物館	経営管理部 部長	澁谷 仁	○			
230	国立科学博物館	総務課 係長	中山 美樹	○	○		
231	国立科学博物館	常設展示・巡回展示課 課長	田邊 玲奈	○	○		
232	国立科学博物館	情報化推進室	柴田 さやか	○	○		
233	国立科学博物館	生命史研究部・進化古生物研 究グループ長	矢部 淳	●	●	●	
234	国立科学博物館	動物研究部 研究主幹	廣瀬 慎美子	●	●		
235	国立科学博物館	動物研究部 研究員	吉川 夏彦		●		
236	国立科学博物館	植物研究部 研究主幹	村井 良徳		●		
237	国立科学博物館	特別研究員	岡部 晋也		○		
238	国立科学博物館	理学研究部 研究主幹	門馬 綱一	●	●	●	
239	国立科学博物館	筑波実験植物園 研究主幹	堤 千絵		●		
240	国立科学博物館	産業技術史資料情報センター 専門員	内尾 優子	○	●		
241	国立科学博物館	標本資料センター 副コレク ションディレクター	神保 宇嗣	●	●		
242	国立科学博物館	標本資料センター	柿添 翔太郎	●	●	●	
243	国立科学博物館	標本資料センター 支援研究 員	太田 藍乃	●	●	●	
244	国立科学博物館	常設展示・巡回展示課 巡回 展示担当	新井 亮平		●		
245	全国科学博物館振興財団		佐藤 幸枝	●	●		
246	国立科学博物館・全科協事務局	学習支援部 部長	光石 恭典	●	●	●	
247	国立科学博物館・全科協事務局	学習支援部 参与	濱田 浄人	●	●	●	
248	国立科学博物館・全科協事務局	広報・連携課 課長	関根 則幸	●	●		

※現地出席＝●、オンライン出席＝○

※①自然史標本棟/標本・資料棟特別見学ツアー、②筑波実験植物園バックヤードツアー

※2/9（月）時点

	施設名	役職	氏名	総会	研究発表大会	情報交換会	オフショナ ル ツアー
249	国立科学博物館・全科協事務局	広報・連携課 連携担当 係長	登島 志穂	●	●		
250	国立科学博物館・全科協事務局	広報・連携課 連携担当	斉藤 智喜	●	●		
251	国立科学博物館・全科協事務局	広報・連携課 連携担当	清水 澄子	●	●		